

平成27年第1回

荒川区教育委員会臨時会

平成27年8月7日

於)304会議室

荒川区教育委員会

平成27年荒川区教育委員会第1回臨時会

1 日 時	平成27年8月7日	午後1時30分
2 場 所	304会議室	
3 出席委員	委 員 長 委員長職務代理者 委 員 委 員 教 育 長	小 林 敦 子 坂 田 一 郎 高 野 照 夫 小 池 寛 治 高 梨 博 和
4 出席職員	教 育 部 長 教 育 総 務 課 長 兼 教 育 施 設 課 長 学 務 課 長 指 導 室 長 統 括 指 導 主 事 統 括 指 導 主 事 統 括 指 導 主 事 指 導 主 事 指 導 主 事 指 導 主 事 書 記 書 記 書 記 書 記	阿 部 忠 資 丹 雅 敏 相 川 隆 史 小 山 勉 未 永 寿 宣 湯 浅 泰 美 椿 田 克 之 保 坂 美 加 子 岩 淵 和 行 原 田 正 伸 中 村 栄 吾 湯 田 道 徳 本 山 育 美 宮 島 弘 江

(1) 審議事項

議案第21号 平成28年度から使用する中学校教科用図書の採択について

議案第 22 号 平成 28 年度に特別支援学級で使用する一般図書の採択について

(2) その他

委員長 それでは、ただいまから荒川区教育委員会第1回臨時会を開催いたします。

出席委員数の御報告を申し上げます。5名出席でございます。

会議録の署名委員は、高野委員及び小池委員をお願いいたします。

教育長、あいさつをお願いいたします。

教育長 本日の第1回臨時会、どうぞよろしくをお願いいたします。

会議に入る前に冒頭御報告をさせていただきます。今週の8月3日と4日、荒川区では、今年度から全ての中学校に防災部が設置されておりますが、その防災部の代表20名が釜石市を訪問してまいりました。大変有意義な訪問であったと団長の南千住第二中学校、齊藤進校長から報告を受けてございます。9月1日に報告会を開催する予定でございますが、詳細につきましては、次回の教育委員会で報告させていただきたいと存じます。本日は、この間調査研究を進めてきました中学校教科用図書の選択につきまして、どうか御採択のほど、よろしく願い申し上げます。

委員長 審議に先立ちまして、傍聴の皆様申し上げます。皆様にお配りいたしました傍聴券に記載の注意事項をよくお読みいただきまして、傍聴中におきまして発言などにより議事を妨げる事のないようお願い申し上げます。

それでは、本日の議事日程に従いまして、議事を進めます。

議案が2件ございます。

初めに、議案第21号「平成28年度から使用する中学校教科用図書の採択について」です。

荒川区教育委員会におきましては、4月24日に開催した定例会におきまして、今回の中学校教科用図書の採択方針及び手続を確認し、また、7月10日に開催しました定例会におきまして、選定調査会からの報告を受けました。

この間、委員個人による調査研究のほか、2回にわたる勉強会を開催し、各社の教科用図書の編集趣意書や東京都教育委員会による教科書調査研究資料などの資料、教科書展示会におけるアンケートなども参考に、勉強をしてまいりました。

本日は、その調査研究の結果を持ち寄り採択を行いますので、どうぞよろしく願いいたします。

本日の審議の進め方でございますが、お手元の議案に記載のとおり、各教科・種目ごとに一つ一つ審議・採択を進めてまいります。また、本日は、指導主事の出席を求め、必要な場合には、説明や報告を行わせたいと思っておりますが、異議はありませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、議案の審議に入ります。

議案第21号「平成28年度から使用する中学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

事務局より議案の説明をお願いいたします。

指導室長 それでは、「平成28年度から使用する中学校教科用図書の採択について」御説明申し上げます。

文部科学省より示されております中学校教科用図書目録平成28年度使用に掲載されている教科書の中から9教科15種目について、それぞれ1種目の教科用図書を荒川区立中学校教科用図書採択要綱に基づき御採択していただきます。

調査の経過につきまして御報告申し上げます。

先ほど申し上げました荒川区立中学校教科用図書採択要綱に基づきまして、5月25日に教科用図書選定調査会を設置いたしました。この選定調査会は、学識経験者、地域関係者、保護者、学校関係者の計8名で組織され、全3回の協議を通して、全ての教科用図書に関して調査研究を行いました。この間、選定調査会から各教科の専門性の高い本区の中学校長及び教員より組織される教科専門部会に調査を委嘱し、報告を受け、その内容を参考にしながら具体的な調査を行ってまいりました。机上に配付いたしました教科用図書選定調査会調査研究報告書に調査結果をまとめさせていただいております。

また、広く区民の皆様へ、各学校の教員などに直接教科書を見ていただき、たくさんの意見をいただくために、6月9日から7月2日まで教育センター内で教科用図書展示会を行いました。その間、延べ84名の入場者があり、50名の方からアンケートの回答をいただきました。

このアンケートにつきましては、事前にお渡しさせていただいております。これら教科用図書選定調査会調査研究報告書及び展示会のアンケート等を参考にさせていただきながら御審議をいただき、採択についてよろしくお願い申し上げます。

委員長 ただいまの説明にありますように、採択の対象は9教科15種目となります。議案書に記載の順に審議・採決を行い、決定していきたいと思います。

審議・採決の方法は、種目ごとに事務局より改めて調査内容の報告を受けた後に、各委員より報告内容に対する質疑や各社の教科用図書に対する意見、候補とすべき図書の推薦などについて御発言をいただき、協議をさせていただく中で、最終的に大方の方向がまとまったと判断された段階で採決を行います。

最終的に、委員の意見が分かれ、複数の候補が残った場合には、その複数の候補について議案に記載されている発行者の順に、その発行者の図書がふさわしいと判断される委員に挙手していただくという形で採決したいと考えております。

その場合、本日の出席委員が5名ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条の規定により、過半数の3票を獲得した発行者の図書が採択となります。いずれの教科用図書も3票に達しない場合は、ほかの教科・種目の採択を進め、議案の最後の種目が終了した段

階で再度、審議・採択を行います。

なお、退席などにより、委員が4名となり可否同数の場合は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条の規定により、委員長が決めます。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ありがとうございます。皆さんの同意が得られましたので、そのように取り扱うことといたします。

それでは、順に、教科「国語」、種目「国語」から審議・採決をいたします。

指導室長より、国語について説明をお願いいたします。

指導室長 教科「国語」、種目「国語」の調査研究のまとめの主なものを御報告申し上げます。

東京書籍でございます。表現の中に、全体として、季節感を感じさせる挿絵や写真を多く掲載している。使用上の便宜でございます。教科書の中の部分の折り込みは破れやすい。

学校図書でございます。内容でございます。段階的に習得していくことができるよう系統的に配列している。表現でございます。漢字のふり仮名が多い。

三省堂でございます。表現のところでございます。新出漢字がページ毎の脚注と最終ページにまとめて掲載されるようになっている。単元構成でございます。単元配列は詩から始まり、改良されている。

教育出版でございます。内容でございます。伝統文化を尊重する態度を育む、資料、教材を工夫している。あわせて内容でございます。内容構成のバランスについては、適当である。

光村図書出版でございます。表現でございます。文章、資料のバランスがよく、技能に関するページは全体的にわかりやすく、図のように示されている。単元構成でございます。習得、活用のバランスでは、繰り返す学習を打ち出しており、自宅学習にも対応できる。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

委員長 教科「国語」、種目「国語」について説明がありました。

それでは、御審議をお願いいたします。坂田委員、お願いいたします。

坂田委員 まず、私は、今回、各教科書の内容の適正性に加えて、それぞれの教科の特色、それから、荒川区として重視している教育の目標、それから、もう一つ、子どもたちのために能動的な学びの要素がある程度あるといったことを重視して申し上げたいと思います。

国語につきましては、教科の特徴として、単なるテキストの情報とは異なる言葉の意味を教える必要があると思っております。同じ文章でも、例えば、音読、言葉のイントネーションであるとか言葉の語感だとか、そういったものを含めた音読と、それから、自分の頭の中で話をしながら読み込む黙読、それから、身振りとか手振りを交えながら話し合いの中で言葉を発するようなこと、それぞれ別の意味合いがございまして、そういったことを総合的にバランスよく教えるよ

うな教科書がいいのではないかと考えております。

東京書籍につきましては、1年生の言葉の力であるとか、それから、話し方はどうかといった導入部にはなかなかよい内容ではないかと思えます。ただ、詩や短歌から入るのはやや教えるににくいのかなという印象がございます。

学校図書につきましては、格調が高いかなというのが率直な印象です。例えば、1年生の目次を見ていただきますと、絆、生命、群像、伝統、世界と並んでいます。一方、「学びの窓」というのがありますが、授業を支援する部分はやや少な目かなと思えます。教える側の能力が問われることだと思えます。

光村図書出版につきましては、1年生から能動的な学習を意識されていると思えます。例えば、話題や方向を捉えて話し合おう、声を届ける、調べる、書き留めるなど、3年生になりますとスピーチを考えると、紙面を編集するなど高度な内容になっています。情報コラムの内容がなかなかよいのではないかと感じます。

三省堂は、内容が分析的で、教える側からみると教えやすいのではないかなという印象がございます。具体的には、学びの道しるべだとか、読み方を学ぼう、メモのポイント、手順とルール、観点の例など多彩な学習支援の、もしくは授業支援の項目がございます。加えて、読書の広場とか考える広場、手紙、はがきの書き方など参考資料も充実していると思えます。

教育出版は、本の紹介をする「読んでみよう」のコーナーがありまして、子どもたちを読書につなげる構成になっているかと思えます。学習支援につきましては、三省堂に比べるとやや簡素かと思えます。

以上のことから、私としましては、三省堂を第1位、光村図書出版を第2位という候補として挙げたいと思えます。

以上です。

委員長 では、続きまして、高野委員。

高野委員 高野です。今の大体の方針を坂田先生がおっしゃってくださいました。私、荒川区の教育委員を長くしておりまして、そういう観点から、荒川区の中学生に匹敵するようなものはどれだろうということを考えて、そういう視点を中心に見ました。東京都の調査資料あるいは荒川区のこの調査会の資料に基づいて、それを重視しながらどれが一番いいだろうということで考えました。

まず、学校図書ですが、今、坂田先生がおっしゃったように、格調が高い印象で、系統的に、各学年ごとに絆、生命、群像、伝統、世界の項目が分かれて非常にうまくレイアウトされていて、1年目、2年目、3年目とグレードアップされているという印象、ちょっと格調が高いかなという印象を受けました。

もう一つは、東京書籍。これは、創作意欲をかき立てるような、題材もスムーズで、レイアウトも非常にきれいなのですが、古典、俳句、短歌などが初めのほうに置いてあって、ちょっと指導に入りにくいのかなと思いました。

次に、光村図書出版。これも、日本の伝統文化の伝承を教育しようという配慮が十分なされておりまして、そして、国語としての内容が豊富であって、構成のバランスも分量も極めていいという印象を受けたのですが、私が最終的には考えたのは、三省堂です。といたしますのは、東京都の調査研究資料によりますと、文学的文章、読書、教材、文章の教材、文法、漢字を含める割合が多いとされている。こういう点で、一番よくバランスがとれているということと、もう一つは、各出展の作品に、話す、聞く、書く、読むに、どの作品がどこのところに力点を入れていいか、指導の学び方、学ぶほうもいいのではないかなと理解いたしました。

そして、先ほど指導室長がお読みになったように、挿絵も季節感があって、親しみやすい。6年生の学習したときの漢字一覧もあって、非常に丁寧に脚注もあります。最終ページもいろいろなことをまとめてあり、そうした点から三省堂を推薦したいと思います。

以上です。

委員長 では、小池委員、お願いいたします。

小池委員 私も前のお二方と同じで、国語というのは、各教科を理解するための一番基本だと思います。そういう意味では、理解すること、思考、考える能力、それから、表現力を養うということが一番重要かと思います。

まず、三省堂ですけれども、音読を重視している。すなわち、詩歌の割合が比較的多いということが言えるかと思います。また、段階的に習得できるように系統的に配列されている。それから、2番目に、書くこと、考えて書くことを重視している。そういう意味では、ちょっと分析的ではありますが、表現力を養う上で重要かと思います。それから、本の紹介が非常に多い、高野先生もおっしゃられたところですけども、荒川区が推し進めている学校図書館を活用すること、読書指導を深めるということにマッチしているかと思います。

次に、光村図書ですけれども、演習問題が充実して、生徒に多角的に考させることができる、そういう仕組みになっています。それから、文学的表現文章や説明文章に優れた内容が多くて、バランスよく構成されているというのが特色かと思います。

総合的に判断して、私は、三省堂を推薦したいと思います。

委員長 教育長、お願いします。

教育長 教育長です。先生方に今、るる御意見を述べていただきましたが、私自身も、今、小池先生がおっしゃられたように、国語というのは、全ての教科の基本であり、子どもたち、生徒にすばらしい感性を醸成しつつも、全ての教科に共通する基礎的な学力の定着に最も役立つ教科書

を選定すべきだと考えてございます。

具体的には、共通の教材になっています中学校1年生では、「少年の日の思い出」、中学校2年生では、「走れメロス」というのが各教科書でも共通に取り上げられており、それらを中心に比較いたしました。

その中で、私も三省堂か光村図書出版がいいのではないかと考えております。三省堂については、脚注ですとか読み方を学ぼうなど、解説が丁寧で、挿絵もきれいで、読みやすいし、学習しやすい内容になっております。また、先生方がおっしゃられたように、資料編が充実してまして、読書ガイドスとか文法のまとめ、漢字の一覧等が出ていまして、家で、もしくは授業の合間に、自分で学習するのに大変役立つと思っています。

一方、光村図書出版は、各教材、項目ごとに学習の視点が掲載されておりまして、作品のどこを中心に読み取るべきなのか、理解するべきなのか、この作品は何を言いたいのかがわかりやすくなっております。また、取り上げられている教材も大変いいものが多いなと感じておりまして、例えば、中学校1年生では、転校でなじめない生徒のことを題材にした「花曇りの向こう」とか、あるいはまた、女の子が友達と喧嘩してなかなか仲直りができないという「星の花が降るころに」など、思春期の中学生にマッチした題材が多く取り上げられております。

結論的に申し上げますと、甲乙つけがたいのですが、私は光村図書出版を推したいと思っております。

委員長 それでは、私からも意見を述べさせていただきたいと思っております。これから各教科の教科書についてコメントを述べさせていただくのですが、特に、幾つかの資料を参考にさせていただいておりますので、それについて簡単に紹介させていただきたいと思っております。

1点目なのですが、東京都教育委員会から出されました教科書調査研究資料(中学校)です。2点目は、荒川区の教科書選定調査会調査研究報告でございます。3点目なのですが、荒川区の教育実態調査、アンケート等を参考にさせていただきながら、教科書を検討させていただきました。以下、会議の時間も限られておりますので、各教科につきまして、特に優れている、あるいは荒川区の実態に合っている教科書を取り上げてコメントをさせていただきたいと思っております。

まず、国語なのですが、学習指導要領に示された国語科の目標としましては、まず、国語を正確に理解し、伝え合う力を高めるというのがありまして、この趣旨からいうと、三省堂が優れていると思われました。

また、学習指導要領の中で示されました国語科の目標としましては、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにするという目標が提起されておりまして、この観点からいうと、光村図書出版が非常に優れていると思われました。

光村図書出版なのですが、1点目としては、文学的文章や説明的文章に優れた作品が多く、バ

ランスよく構成されているという点が指摘できると思います。

そして、2点目として、作品の後の発問が非常に充実している点があるかと思います。共通教材であります「少年の日の思い出」に関しましても、光村が深い読みを誘う発問になっていると思いました。

それに対して三省堂なのですが、1点目としては、伝え合う力を高めるということを重視しているという点が指摘できると思います。例えば、スピーチの実験というのがありまして、実際にスピーチで話すやり方を変える、また、聞き手のほう、聞く姿勢を変えるといったそういった実験がされておりまして、興味深いと思いました。

また、三省堂、2点目なのですが、作品の分析が図式的でございまして、図を使って人物相関図が描かれるなどしておりまして、とてもわかりやすいという点が指摘できるかと思います。

それと、三省堂、3点目として、図書館利用を促進する内容ということで、巻末の読書の広場というページが非常に充実しております。荒川区は、学校図書館の指導を重点化して指導しておりまして、その点からも、学習の便宜を図ることができると思います。

光村と三省堂ということで、迷いに迷ったのですが、以上の点から、総合的に判断しまして、国語の教科書は三省堂がよいと私自身は考えております。

各委員さんの発言一応全部終了したのですが、ほかに何か御発言などございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ほかに意見がないようであれば、採決に移りたいと思います。

御審議を伺っておりまして、三省堂が4名、光村図書出版が1名ということで、大方三省堂がよいとの御意見かと思いました。そのため、三省堂を採択することにしたいと思いますが、異議はありませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議なしとのことですので、教科「国語」、種目「国語」は、三省堂を採択することといたします。

続きまして、教科「国語」、種目「書写」の審議・採決をしたいと思います。指導室長より説明お願いいたします。

指導室長 教科「国語」、種目「書写」でございまして。

東京書籍でございまして。表現でございまして。表記・表現について、紙面のレイアウトがすっきりしている。

学校図書でございまして。使用上の便宜でございまして。判の横幅を1センチ広くし、見やすく工夫している。

三省堂でございまして。表現でございまして。毛筆の手本の字体が力強く、穂先の動きや筆の運び

がわかりやすいように示している。

教育出版でございます。表現でございます。穂先の動きや筆の運びがわかりやすいようにお手本を示している。

光村図書出版でございます。表現でございます。小学校とのスムーズな接続を図れるよう「基礎編」が新設された。

以上でございます。よろしく願い申し上げます。

委員長 教科「国語」、種目「書写」について説明がございました。御審議をお願いいたします。では、小池委員、お願いいたします。

小池委員 書写につきどの教科書を選ぶかに当たっては3件ほど考慮いたしました。第1は、毛筆と、それから、ますます今後使われるようになってくる硬筆、両方に使えるようなものであるということ。第2は、行書の基本をきちっと教えていること。第3に封書とか手紙などに応用ができる、この3点を念頭に置きました。

それで、この5社の中で私は三省堂が最もよいのではないかと思います。というのは、基本を繰り返し、絞り込んで忠実に繰り返していると。それから、先ほどの第1点の毛筆と硬筆に両用ができるかということについては、教科書選定調査会の調査研究報告書にありますように、毛筆のお手本の字体が力強いと、それから、穂先の動きや筆の運びがわかりやすいようにお手本を示している。

第2は、点画の組み立て方で、美しい文字とバランスのとれた美しい文字の配列を図っています。

第3に、行書の基本を忠実に練習させる仕組みになっています。

最後に、毛筆用の書き初めも大きなスクロールの中に含めている。

以上の理由で三省堂を推薦したいと思います。

委員長 では、高野委員、お願いいたします。

高野委員 5つの書籍の中で、私はまず2つの会社を取り上げてお話ししたいと思います。

まず、光村図書ですが、これは、毛筆の動かし方、それから、平仮名の筆使いと字形の整え方に強く言及しております。最初は毛筆について学ばせ、そして、平仮名の使い方もバランスがとれています。加えて硬筆、硬いほうの筆に対しても記載が十分なされている。そして、指導並びに学ぶ点に力点を入れていて、指導もしやすいし、どこを勉強すればいいかということが理解できます。

それから、デザインの文字を効果的に使うことも強調されておりまして、デザインの方面から中学生の感性を養うのにとってもいいのではないかと思います。

常用漢字のほうの一覧表があって、上段に楷書、下段に行書、一覧の項目に平仮名、カタカナ、

数についても、行書の書き方の一覧表がございます。非常に学びやすく、全体から見て、感性を養う、字を書く、日本語を養うという意味では、丁寧にできているという印象でありました。

もう一つ、三省堂のほうですが、各学年で目標が書かれておりました。ほぼ光村図書と変わらないのですが、目標があって、まず、1年生は楷書で書こう、2年生は行書にしよう、3年は効果的に使おうで分かれています。毛筆の使い方も書かれておまして、生活に生かそうというふうになっています。甲乙つけがたかったのです。丁寧さ、指導しやすいほうは、光村図書ではないかなと思って、私は光村図書のほうを推薦したく思います。

委員長 では、坂田委員、お願いいたします。

坂田委員 書写につきましては、比較検討しまして、いずれも、ラインを構成、比較的類似をしているかと思えます、いずれの教科書も。全体として楷書から行書へ、そして、行書を深めるという内容になっているかと思えます。巻末には大体付録があって、書式であるとか、封筒やはがき、それから、最近の重要になっているメールの書き方だとか、こういった付録があります。

教科書の選定科目として、こういった付録も活用して、付録の内容を教えるということが重要かと思えます。

選定に当たりましては、書道と、硬筆のバランス、字体のよさ、指導的な内容がポイントかと思えます。

総合的に見まして、付録も含めてですけれども、三省堂は丁寧にわかりやすいと思えます。光村図書は、コラムが意欲的で、それから、巻末の資料が非常に充実をしていると感じます。いずれもいいかなと思えますけれども、どちらかといえば、三省堂のほうがいいかと思えました。

以上です。

委員長 教育長、お願いします。

教育長 教育長です。票が分かれてしまうかもしれませんが、私は、教育出版がいいのではないかと思いました。

理由は、筆使いも含めて、各学年とも丁寧な説明がなされておまして、荒川区の現場では、中学校3年生においても、毛筆を使った書写の学習をしていく中で、3学年についてもきちんとその毛筆の書き方についての説明がなされていること、また、先ほど坂田委員のコメントにも関連しますが、はがきの書き方ですとか、往復はがきの出欠の返信をどうやって書くかというようなことも、かなり細かく丁寧に、例も含めて記載されておまして、私は、教育出版を推したいと思った次第です。

委員長 私ですが、光村図書出版と三省堂で非常に迷いました。まず、光村図書出版なのですが、1点目として、資料編が充実しているというところがありまして、荷物の送り状の書き方から、例えば文章の校正するときの校正記号の使い方など、細かい指導が書かれております。

そして、2点目としまして、手書きの文字の力、その大切さを教えてくれるという点があるかと思っております。

一方、三省堂なのですが、日常生活、学校生活に役立つ内容が盛り込まれておりまして、例えば、卒業記念冊子をつくらうといった、そういった内容が盛り込まれております。

また、2点目としまして、荒川区の教科書選定調査会の調査研究報告なのですが、毛筆のお手本の字体が力強いといった評価も受けております。

非常に迷ったのですが、いろいろと総合的に考えまして、私は、光村図書出版を推薦したいと思っております。

ほかに御発言ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 もしほかに意見がないようであれば、採決に移りたいと思います。

御審議を伺っておりまして、なかなか候補を1社に絞り込むことは難しいと思いましたが。そのため、今、御推薦がありまして、名前が上がったものの中で、議案記載の順に発行者名を挙げ、挙手していただき、採決したいと思います。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、初めに、三省堂がよいと思われる方、挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

委員長 では、教育出版がよいと思われる方。

〔賛成者挙手〕

委員長 光村図書出版がよいと思われる方。

〔賛成者挙手〕

委員長 ということで、いずれの発行者も過半数に達しませんでしたので、教科「国語」、種目「書写」につきましては、教科「外国語」、種目「英語」の採択が終わった後に、改めて審議を行いたいと思います。

それでは、続きまして、教科「社会」、種目「社会（地理的分野）」の審議・採決をいたします。

指導室長より、「社会（地理的分野）」について説明をお願いいたします。

指導室長 教科「社会」、種目「社会（地理的分野）」の調査研究のまとめの主なものを御報告申し上げます。

東京書籍でございます。表現でございます。インタビューコラムなどを設けて、人にもフォーカスを当て、理解しやすい。きれいな写真や絵などを見やすくわかりやすく表現している。

教育出版でございます。表現でございます。暑い地域の暮らし等の記述ではなく、「赤道に沿

った暑い世界」など、具体的な記述になっている。単元構成でございます。振り返りのできるコーナーが設置されている。

帝国書院でございます。表現でございます。インタビューコラムなどを設置している。地域性でございます。荒川区の題材を扱っているのではないが、身近な地域調査の単元で23区内の練馬区を題材としている。

日本文教出版でございます。表現でございます。言語活動コーナーが設置されており、図版の内容を読み取り、思考・判断・表現する活動がしやすくなっている。単元構成でございます。学習の〔確認〕と〔活用〕のコーナーがあり、学習課題に対応し、学習の理解を深めたり、その知識を活用できるようになっている。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

委員長 教科「社会」、種目「社会（地理的分野）」について説明がありました。御審議をお願いいたします。では、小池委員、お願いいたします。

小池委員 地理の教科書を選ぶに当たって、私は、3つの選択基準を考えました。

第1は、世界の各地の写真や資料が魅力的であって、興味を抱かせるものであるということ、それから、その地域の特色がわかること。

第2は、世界の中における日本の特徴を浮き彫りにして、統計的なバックグラウンドとともに認識させる。

第3に、日本の領土問題が適切に表現されているということです。

この3点については、4つの出版会社とも要件に合致しています。しかし、その中から、私は、東京書籍と帝国書院を選びました。

まず、東京書籍ですが、第1は、同じ緯度で、日本の地図を赤線で対比して、日本の大きさと緯度がヨーロッパの北のほうに位置するというようなことを示しております。例えば、九州はエジプトのカイロ付近にあると、我々の感覚とちょっと違った印象を受けるわけです。

第2は、気候条件により、住居、生活環境が異なることを、平均気温グラフと写真で示していること。

第3には、世界のいろんな地域の特色と課題をサブタイトルに含めております。例えば、アジア州では「急速に進む成長と変化」、アフリカ州については「モノカルチャーに頼る生活の変化、アフリカの課題と展望」、こういう例が見られます。

第4ですが、日本の姿の特色を、環太平洋造山帯の一部として説明して、山脈、火山と海溝や日本の川と平地の特色として全体を説明している。

最後に、統計資料は2013年版を使用しています。

これに対して帝国書院ですが、これもなかなかいいのですが、第1に写真やグラフも多く、ス

タンダードな叙述ぶりになっていると思います。

第2は、極めて豊富な資料が含まれています。生徒の知的好奇心を刺激するのに十分かと思えます。

それで、この2つを比較すると、私は東京書籍を推薦したいと思います。

委員長 坂田委員、お願いいたします。

坂田委員 地理は他の教科と比較しますと、全体的に資料、挿絵のウエイトが非常に高く、教育現場からすると、その教科書の中にある素材を適切に選択し、それを生かして教える能力が求められると思います。

この際に、実はいずれの教科書にも共通する課題だと私が思いますのは、現在は、多くの国で経済シェアの6割以上を占めるようになってきているサービス業の記述がちょっと少ない、それに関する資料が少ないということが課題ではないかなと思っております。

各教科書の比較でございますけれども、帝国書院は、資料の提供という意味では、非常に多くの素材を含んでおりまして、内容も濃いかと思います。ただ、全体的に資料、写真が多くて、ややし詰め印象があるかと思えます。

東京書籍は、地図が大き目で、かつ印象もよくて、地理の科目では、主要な国がどこにあるかといったことも覚えることも必要だと思いますけれども、そういう意味では、各国主要な国を覚えるという意味では、よい印象、よい構図になっているかと思えます。

もう一つは、小池委員がおっしゃられました、各地域をどういうふうに捉えているかという捉え方の問題でございますけれども、例えば、欧州では人口移動、環境配慮、EUとつながるロシア。それから、アメリカ州では多民族社会。それから、その他では、例えば、中部太平洋の地球温暖化問題など、世界各地の問題の捉え方は非常に適切ではないかと思えます。

それから、荒川区にはアジアの方も多く住んでおられまして、アジア州との関係は非常に重要なわけでございますけれども、アジア州については、この教科書ではNIE S、それから、中国、ASEANというふうに並べて、多目に取り扱っております、そういった点は評価できると思えます。

それから、日本の問題も重要なのですが、日本については、自然災害と防災、ごみ削減、人口集中など、荒川区に関係の深いテーマがきちんと紙面を割いて取り上げられていると思います。

教育出版ですけれども、重複を避けますが、教育出版も海外の各地域の捉え方については特徴や課題の捉え方が非常によいのではないかと考えました。

日本文教出版ですけれども、資料や図版はかなり充実をしまして、また、荒川区が重視している震災や復興に関する記述が充実をしております。一方で、アジアに関する記述はやや不十分ではないかと考えました。

以上のことから、総合的に見て、東京書籍を上げたいと思います。

以上です。

委員長 では、高野委員、お願いいたします。

高野委員 私は、帝国書院を推薦いたしたいと思います。多くの写真や絵で見やすく、わかりやすく、資料が極めて多い。特に、電子黒板の授業を荒川区としては力を入れておりますので、非常に有用ではないかと思えます。地域の特性や特徴が本当に整理されて、それが取り上げられた地域全体が把握できるようになっている。例えばアジアを見ますと、資源環境、歴史、気候や気象、天候のグラフを示して、相互関係を理解させて、地域全体を、アジアならアジア全体を把握させるように、そして、その学んだことによって、よく考えて、生徒たちが思考力を展開させるような構成になっていると考えて、非常に皆さんが夢を持つような、持たせるような構成になっているかなということで、帝国書院がいいと思いました。一方、細かな部分も注意されておりまして、学習の理解が各章に設けられておりまして、こういう点についても帝国書院がいいと思いました。

そのほか、東京書籍ですが、これは、もう東京書籍の本はいつもしっかりとしてできていまして、小学生のときから、全てきちっとレイアウトが教育的にきちんと秩序正しくというのですか、順序正しく段階的にきちっと進められておるなと思えます。これも、甲乙つけがたいのですが、特に、この中で荒川区に関係する防災とか震災、減災の取り組みを深めようというところは、今後の中学生たちの課題でもあるのかなということで、甲乙つけがたいのですが、荒川区に適しているのは、未来を担う子どもたちになってほしいという希望を込めて、どちらかという帝国書院のほうを推薦したく思います。

以上です。

委員長 教育長、お願いいたします。

教育長 高梨です。主に、アジアとヨーロッパ、それに国内では関東地方の記述について、各社を比較してみました。

東京書籍については、全体を通して振り返りのページがあって、学習したことを確認しやすいつくりになっていると思います。また、地理にアクセスという項目があって、具体的な記述によって、より内容を理解する上で役立っていると思いました。

さらに、先ほど坂田委員から御指摘がありましたけど、アジアの中ではN I E S、新興工業経済地域についてきちんと記述してあったり、ヨーロッパ、EUに関しては、ギリシアの財政問題についての課題等について記述があり、しっかりしていると思いました。

次に、日本文教出版ですけれども、記述が丁寧で、生徒たちの理解がしやすい、わかりやすい構造になっていると感じました。学習のヒントとして、学習課題、伝えよう、豆知識、確認と活

用など、多くのコラムが配置されていて、アジアでB R I C S、またギリシアについての記述もありました。

そして、帝国書院ですけれども、やはり地図を中心につくっている会社だけであって、自然環境についてしっかり記述されており、各国、各地域の概況をまず冒頭につかむ上で、基本的事項がきっちり抑えられていると思いました。また、アジアについては、世界の人口集中地域であることや、アフリカのフェアトレードなど基本的課題についても掲載されていて、基本的なところが抑えられていると思いました。

そして、一番いいなと思ったのが、学習指導要領にも書いてありますけれども、地理については、地域調査など具体的な活動を通して、地理的事象に対する関心を深めさせる、具体的には、社会参画の視点を取り入れた身近な地域の調査を地理において行っていく必要があるという学習指導要領の記載に関連して、練馬区が身近な地域の調査として取り上げられておりまして、荒川区の子どもたちが地域の調査をしていく上で活用をしやすい教材になっていると思いました。

以上のことから総合的に考慮いたしまして、私は、帝国書院を推したいと思ってございます。委員長 では、私から意見を述べさせていただきたいと思います。

地理の教科書なのですが、選定のポイントとして、まず1番目なのですが、統計、グラフ、地図などの資料を使って調べ、考える能力を育成できるということをポイントの一つとして考えました。

そして、2番目として、調べ学習が充実しているということをポイントとして考えました。その上で、東京書籍か帝国書院が荒川区にはふさわしいのではないかと考えております。

まず、東京書籍でございますが、第1点目としまして、発問が多く、また、段階的に思考を深める発問がされていて適切であるという点を挙げたいと思います。

2点目としましては、写真がきれいで見やすく、生徒の興味を引くものであるという点を挙げたいと思います。

3点目として、東京書籍の場合、取り上げている国が多くありまして、地理の教科書としては、多くの国について紹介するという事は非常に大切かと思っております。

それに対しまして帝国書院なのですが、1点目としまして、地図帳をつくってきた実績があるだけ、分布図といった図表が非常に工夫されていると、そういった利点を挙げることができると思います。

そして、2点目なのですが、いろいろと意見出ていると思うのですが、地域学習に適していると、練馬区が取り上げているという点も指摘しておきたいと思います。

3点目なのですが、日本との関係で、世界を理解させようとする工夫がよりなされているように思われました。

そして、4点目なのですが、領土をめぐる課題の書き方が明確であるといった、そういった点も指摘できるかと思います。

以上から総合的に考えまして、私自身は帝国書院を推薦させていただきたいと思います。

ほかに御発言ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ほかに意見がないようであれば、採決に移りたいと思います。

御審議をお伺いしております、3名の方が帝国書院、2名が東京書籍という御意見かと思いますが、3名ということで、帝国書院を採択することにしたいと思いますが、異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議なしということですので、教科「社会」、種目「社会（地理的分野）」は、帝国書院を採択することといたします。

では、続きまして、教科「社会」、種目「社会（歴史的分野）」の審議・採決をいたします。

指導室長より、「社会（歴史的分野）」につきまして、説明をお願いいたします。

指導室長 教科「社会」、種目「社会（歴史的分野）」の調査研究のまとめの主なものを御報告を申し上げます。

東京書籍でございます。内容でございます。新聞記事を取り上げ、メディアリテラシーが身につくよう配慮している。単元構成でございます。挿入部「時代の特色の理解」で概観し通史の学習をする展開部、まとめの終結部となっている。

教育出版でございます。表現でございます。「時代スケール」により時代を視覚的につかめるようにしている。単元構成でございます。「読み解こう」「ふりかえる」のコーナーがあり、学習内容を理解しやすい。

清水書院でございます。単元構成でございます。章の扉で小学校での既習事項や時代を代表する写真を配置している。巻末に載っている「歴史のとびら」が生徒に理解しやすい。

帝国書院でございます。内容でございます。各時代の人々の姿をイラストにしたタイムトラベルを設置している。単元構成でございます。タイムトラベル 本文 振り返りという構成になっている。

日本文教出版でございます。単元構成でございます。「図版特集」、「とらえよう歴史の転換」は、全体を理解する助けになる。使用上の便宜でございます。防災や安全教育に関する教材について配慮している。

自由社でございます。内容でございます。重要な歴史用語について100字以内で「歴史豆辞典」を掲載している。単元構成でございます。コラムやミニコラムに発展的な内容がある。

育鵬社でございます。内容でございます。各時代を代表する女性たちの生き方を紹介している。単元構成でございます。多彩なコラムを活用し、生徒の多面的・多角的考察、公正な判断、適切な表現力を養う構成になっている。

学び舎でございます。表現でございます。各テーマの導入に歴史の現場となった各地域の様相を具体的に記述している。使用上の便宜でございます。A4判を採用し、大判で写真や年表なども大きくわかりやすい。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

委員長 教科「社会」、種目「社会（歴史的分野）」につきまして説明がありました。御審議をお願いいたします。では、高野委員からお願いします。

高野委員 私は、この多くの社から2ついいのではないかと考えました。非常に躊躇しておりますが、今手元にありますこの教育出版なのですが、時代の流れを平易な表現で、我が国の歴史を学習させるのに、非常にうまくまとめられているのです。時代背景をもとにして、変化と因果関係を考えさせようと。例えば、明治維新、それから、日本と外国との関係、いわゆる歴史というのは、そういう名前や人物も大切ですけど、流れを教える、理解するということが将来につながると思います。

その中の一番魅力的だったのが、「とらえよう時代の変化に」とか、「理解しやすい世界のつながり」とか、中世から近世、それから、ヨーロッパと我が国の歴史的關係について、十分に理解できるように書かれているのです。そういう点で、歴史というのを基本に考えると、何を考えるか、次にこういう流れがあって、どういうふう動くか、その原点として繰り返すかどうかわかりませんが、そういう点で生徒の多様性を伸ばすという点で、この辺が優れていて、教育出版を私は第1に推薦したいと思います。

2番目、東京書籍が非常によくまとまっています、子どもたちに理解させるのに非常にいいのです。挿入部に「時代の特色の理解」全体を把握してから、中心に入ってまとめがあるということで、頭を整理させるという点では、この東京書籍の書物は全部そういうふうな各科、種目ともなっているような印象を受けるのですが、特に、この中でメディアリテラシーが身につくように配置されているということが、非常にいい点だなと思います。トピックスを深めようとか、要点の把握ができる。論点をどこに、子どもたちをどういうふう指導するかということに、この教科書2つが挙がってきたのですが、歴史というのは、長年、どういうふうに私たち考えたらいいという素養も身につけるようにするのが歴史の学問だと思いますので、そういう点から見まして、教育出版のほうが、そういうのを学ばせるのにいいのかなと思います。

東京書籍と両方で大変迷いましたが、東京書籍の場合は、見開きの右側に主題の要点がわかるようになっていて、非常によく記載されてできているのですが、どちらかというと、歴史と

いうことを考えると、教育出版のほうを推薦したいと思います。

以上です。

委員長 よろしいですか。坂田委員、お願いいたします。

坂田委員 歴史はさまざまな事象を含んでおりまして、先ほど高野委員からの流れのお話がありましたけども、流れについては、理科のように、明確な原理があるわけではなく、非常に複雑な流れがあると思います。したがって、他の科目と比較して体系化が難しいというところがあるかと思っています。

教科書においては、そのため、知識の間のつながりの手助けをする、流れの理解を手助けするような工夫がかなり重要ではないかと思っています。

こういう面で見ますと、東京書籍は、歴史の流れをつかもうというところからスタートして、これは非常によいと思います。それから、この時代の特色をとらえよう、比較表にまとめようと、章ごとのまとめが充実をしています。個別の内容では、深めようだとか、歴史探検隊というコラムは子どもたちの興味、関心を引く内容ではないかと思うのです。それから、調べたことをまとめよう、地域の歴史を調べてみようなど、能動的な学習要素の方法であるかと思っています。

帝国書院ですけれども、「歴史を探ろう」「タイムトラベル」、こういったものが子どもの興味を引く内容かと思っています。帝国書院の特徴として、人々の営みや文化を重視されているように思います。章末にはふりかえりがあるわけですが、まとめがやや不足しているかなと思いました。例えば、戦国時代から江戸の範囲で見ますと、136ページから137ページ、2ページでまとめられています。

清水書院は、もっと知りたい歴史だとか歴史のとびらなど、興味を引く内容があります。これらは、大人から見ても興味を引く内容になっていて、やや発展的内容かなと思います。

教育出版は、最初に歴史の全体的な流れがあるのがこれだと思います。高野先生も同じことをおっしゃったかと思っています。それから、資料から歴史を探ろうという、発展的な内容を含んでおりまして、また、章末にまとめと大きな年表があるのがよいかと思っています。

日本文教出版は、発展的な内容を多く含んでいると思います。例えば、プラスアルファであるとか、見学にいこう、先人に学ぼうといったことがあります。まとめとして、世界史との対応をしている点も重要かと思っています。まとめについては、こういう世界史との対応を含むのであれば、さらに充実させてもよいのではないかと思っています。

育鵬社は、「歴史絵巻」というのがありますが、これは、導入時において、子どもを引きつけるのに非常によいかと思いました。

以上ですけれども、総合的に見て、私は東京書籍を第1、それから、教育出版を第2に上げた

いと思います。

委員長 では、小池委員、お願いいたします。

小池委員 歴史の教科書を選ぶに当たっては、私は3点考えました。1点目は、歴史は現代から過去を見る、また、現代から将来を見据える学問と私は理解しております。それで、特定の時代を学ぶときに、その時代のイメージを持ち、時の流れを把握するということが極めて重要だと思えます。

2点目に、小学校でも学んできておりますので、小学校からの橋渡しというのも大切だと思えます。また、未来につなげるという観点から、近代史や2度の世界大戦や戦後70年にもなる現代史もきちんと把握できるようなわかりやすい内容のものが重要だと思えます。

3点目としては、荒川区においては、近現代史、現代史は、最後まできちんと教えていると承知しております。また、若干脱線しますけれども、歴史はいわゆる暗記物ではなくて、本来考える学問であるべきだと思うのですけれども、小学校、中学校だけでなく、高校、さらには大学への入学試験の内容、あり方をも再検討する必要があるのかなと思えます。ちょっと脱線いたしました。

8社というたくさんの会社から応募があったわけですが、私は東京書籍と帝国書院が優れていると思えます。

まず、東京書籍。第1に、第1章で「歴史の流れをとらえよう」というタイトルのもとで、小学校で学んだこととの橋渡しの役割を果たして、さらに、各章のそれぞれの冒頭で、小学校で学習した資料をも活用して、その時代のイメージを持たせようとしている。

第2に、内容は調査研究報告の中に指摘されているように、内容の程度や範囲は学習指導要領に示された内容をもとに構成されております。

第3に、絵や写真、近現代に至っては新聞記事の見出しなどの資料を駆使して時代の雰囲気伝えようと努めています。

次に、帝国書院でございます。第1に、第1部で「歴史の捉え方と調べ方」とのタイトル、時代区分の説明や歴史の調べ方、まとめ、発表などについて詳しく説明しております。

第2に、各部の冒頭のタイムトラベルのイラストが見開きページに描かれており、その時代の人々の暮らしが連想できるような形になっております。

第3に、タイトルが「朝鮮をめぐる対立 日清戦争」や「世界が目撃した日露戦争」のように、核心をついたわかりやすいタイトルがつけられています。また、現代では「激変する日本とアジア」、この中で「55年体制の崩壊」と題して、細川非自民連立政権の成立、民主党への政権交代などを写真とともに説明しております。

加えて、写真、図、地図がわかりやすく、また、読みやすいという特色を持っております。

以上のように、東京書籍か帝国書院にするか迷うところですが、総合的に見て、私は帝国書院を推薦したいと思います。

それから、この8社の中で、現代史の扱いについて清水書院、自由社及び育鵬社に関して私のコメントを一言述べたいと思います。

第1に、清水書院。サンフランシスコ平和条約と同時に、台湾の国民党政党と個別に平和条約を結んだことを述べています。なぜ1972年に中国とは「日中国交正常化」という名称を付け、その6年後に「日中平和友好条約」が調印されたかという、その理由がこれでわかると思います。

第2、自由社。各章の歴史豆辞典はとてもよいと思います。また、もっと知りたいのコラムで、例えば「仏像の見方」、あるいは「エコロジー都市江戸」というようなユニークなトピックが取り上げられています。同じく「占領下の検閲と東京裁判」では、末尾で、日本政府は裁判を受諾していると断っているものの、少数意見のみの紹介に終わっています。

最後に、育鵬社ですが、各時代を代表する女性たちの生き方を紹介しているのはとてもよいと思います。第2、戦時下の悲惨な戦いと人々の暮らしと終戦の描写は、読む人の胸を打つものがあります。また、GHQの占領下で婦人参政権や農地改革、さらに日本国憲法の公布に至る過程が淡々と述べられております。東京裁判についても、敗戦国の悲哀と宿命が述べられております。

以上でございます。

委員長 教育長、お願いいたします。

教育長 高梨です。幾つかの教科書会社でとりわけ興味を引いた点についてコメントさせていただいた上で、私の意見を述べたいと思います。

まず、初めに、教育出版ですが、先ほど高野委員からお話がありました世界との結びつきを含めて歴史を流れて捉えるということについて、私自身も大変いいなと思いました。学習指導要領においても、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に捉えるということが目標に掲げられておまして、まさに、その学習指導要領の趣旨に沿った形で記述されていると思ったところです。

また、帝国書院については、全編にわたって落ち着いた色彩で大変読みやすい構成になっております。時代を代表する人物を細かく取り上げており、生徒たちの理解がしやすいと思いましたが、また、各章末に学習のふりかえりが設けられておまして、学習内容を確認しやすい形になっております。

また、育鵬社については、歴史ズームインでは日本の伝統文化について、人物クローズアップでは歴史上の人物についてわかりやすく、生徒の興味を引くように記述がされておまして、歴史、教育を行う上で重要な視点であると思います。

最後に、東京書籍ですけれども、学習指導要領の記述を引用させていただきますが、さまざまな資料を活用して、歴史的事象を多面的・多角的に考察するという目標が掲げられております。その目標に沿った形で、資料や絵が豊富に盛り込まれておりまして、さまざまな資料を活用し、そしてまた、図書館ですとか文化館を使った調査資料ですとか、グループ調査の内容が掲載されておりました、生徒たちが主体的に、そして、さまざまな考え方を理解した上で、歴史を認識するのに役立つと思いました。また、発展的な内容ですとか、確認のまとめが單元ごとに設けられておりました、授業に活用しやすいと思いました。

以上、全体を通しまして、私は東京書籍を推したいと考えております。

委員長 では、私からの意見を述べさせていただきたいと思います。

歴史教科書を選定するポイントとしまして、特に資料に基づきながら考えることを促す点が必要かと思いますので、この点を重視して選定させていただきました。歴史の教科書は、先ほどの小池委員の御発言でもあったのですが、暗記科目ではないと思っております。

そうした観点から、東京書籍と帝国書院を推薦したいと思っております。

東京書籍に関しましては、1点目として、資料が豊富であるということ、また、資料が原点に即したものであるという点を指摘させていただきたいと思います。

第1資料の部分要約は、これは各社されているのですが、第1資料の部分要約が非常に正確であるという点を指摘したいと思っております。2点目としては、歴史スキルアップなどがございまして、歴史資料活用のスキルを学べるように工夫されている、そういった点がございまして、各ページ、この見開きの時期がありまして、この時期が歴史の流れの中でどこに位置するのか、そういったことがわかるといった点も優れている点ではないかと思います。

次に、帝国書院なのですが、これも指摘されていることなのですが、各章の初めに、タイムトラベルという部分がございます、当時の人々がどのような生活をしていたのか紹介するページがございます。過去の人々の生活、労働の風景を紹介しつつ、過去の人々に思いを馳せるような、生徒の興味を引く内容となっているということがあるかと思います。

その他、各社非常に優れたものが多く、教育出版などは、資料、部分要約が非常に正確である、あるいは育鵬社も人物重視で興味深いといった、そういった特色があるかと思いました。

以上、特に、東京書籍と帝国書院の中で、私自身は総合的に判断しまして、東京書籍を推薦させていただきたいと思っております。

ほかに御発言ありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ほかに意見がないようであれば、採決に移りたいと思います。

御審議を伺っておりまして、3社が推薦されていたかと思います。そのため、推薦のありまし

た3社につきまして、議案記載の順に発行者名を上げ、挙手をしていただき、採決をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、「社会（歴史的分野）」でございますが、まず、東京書籍の方、挙手お願いいたします。

〔賛成者挙手〕

委員長 3名。次、教育出版。

〔賛成者挙手〕

委員長 1名。そして、帝国書院。

〔賛成者挙手〕

委員長 1名ということでございます。

以上、東京書籍が3名ということでございますので、東京書籍を教科用図書に採択したいと思いますが、異議はございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ありがとうございます。では、社会、種目「社会（歴史的分野）」につきましては、東京書籍の教科用図書を採択することに決定いたします。

続きまして、教科「社会」、種目「社会（公民的分野）」の審議・採決をいたします。

指導室長より、「社会（公民的分野）」について説明をお願いいたします。

指導室長 教科「社会」、種目「社会（公民的分野）」の調査研究のまとめの主なものを御報告申し上げます。

東京書籍でございます。内容につきまして、内容構成のバランスがよく、冒頭には、小学校での内容を振り返るような資料や記述が見られる。単元構成でございます。「公民にアクセス」では、関連する内容をさらに深化できるような工夫もされている。

教育出版でございます。表現でございます。各資料以外に関心を広げるコラムを見開きの最後に設けている。単元構成でございます。見開きの最後には「ふりかえる」があり、単元の基礎的事項を確認し、それらを活用し、表現する活動が取り入れられている。

清水書院でございます。内容でございます。1時間見開き2ページの構成になっている。単元構成でございます。章のまとめのページでは、直接教科書に用語を書き込むような表記が見られ、知識の習得を促す工夫がなされている。

帝国書院でございます。内容でございます。見開きには、「学習課題」、「確認しよう」、「説明しよう」の項目。本文の記述に、歴史的分野、地理的分野との関連に留意している。単元構成でございます。知識の定着を図るために、直接教科書に書き込める工夫がある。

日本文教出版でございます。表現でございます。新しい事例なども資料などに取り入れながら、学習の支援を促すような工夫がなされている。単元構成でございます。見開きの最後には「学習の確認と活用」があり、単元の内容を習得し、活用できているかを確認する工夫がなされている。

自由社でございます。表現でございます。各資料以外にミニ知識が記載されており、学習の興味・関心をさらに広げる工夫がある。単元構成でございます。各章の最後に「学習のまとめと発展」のページがある。

育鵬社でございます。内容でございます。1時間見開き2ページの本文構成になっており、見開きごとに学習のまとめがある。単元構成でございます。見開きごとの「学習のまとめ」に記述で取り組むことで、習得した知識を活用して表現する力を育む工夫があります。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

委員長 教科「社会」、種目「社会（公民的分野）」について説明がありました。御審議をお願いいたします。では、小池委員、お願いいたします。

小池委員 公民という科目は第1に、人が社会的な存在であり、現代社会を理解し把握するためには、社会全体の動きを多角的に考える必要がある。社会的な生き物として、基礎的なところから土台づくりをする大変重要な教科書だと思います。

第2、社会の仕組みは人権が根底にあります。それを担保するために、民主主義に基づいた憲法があり、国会、行政、司法という三権分立に根指した政治の仕組みがあります。

第3に、私たちは自給自足でなく、市場に依存する消費者であり生産者である。経済の仕組みについての理解ももはや欠かせません。

それから、第4に、グローバル社会と称されるように、国際社会の一員として、その仕組みを知り、直面しているさまざまな課題と取り組まざるを得ない。このような学問だと思います。

このように、複雑な課題を順序立てて説明しているのが東京書籍と帝国書院だと思います。

まず、東京書籍については、次の点がよい点かと思います。第1は、まず、身近なスーパーマーケットから入って興味を引き、グローバル化や情報化に引き込む。それから、社会の決まりをつくる目的と方法、そして、その評価と見直しの課題に触れています。

第2、人権と日本国憲法に入り、人権として、平等権、自由権、社会権があり、そういう人権保障を確かなものにするために参政権や裁判を受ける権利に言及しています。さらに、新しい人権が生まれているということについても触れております。それは、科学技術の発達と、それから、情報化社会の進展によっていることをわかりやすく説明していると思います。

第3に、現代の民主政治の土台となっているもの、国の政治の仕組み、地方自治の仕組みについて述べております。

第4に、経済についても、消費、生産と労働、市場経済と金融、政府の役割と財政について順

序よく説明している。

第5に、国際社会の仕組みとさまざまな国際問題を広くカバーしている。

このように章の構成面と問題意識がよくあらわれているかと思います。

次に、帝国書院、第1は、東京書籍と同じ流れの単元構成をとっております。

第2に、イラストが多くわかりやすい。

第3に、優れているのは、トライアルというディベートないしロールプレイというのですか、解決策につき話し合う場を設けているのが特色かと思います。例えば、マンションの騒音問題を解決しようとか、赤字バス路線に税金を使うべきか、という設問をしております。いずれも状況の確認から始まり、ディスカッションを通じて主張を整理し、それで、最後に合意を目指すというプロセスを述べております。

ここで、私が好きな重要なことは、正解は一つではないという発想に基づいてこの本がつくられているということです。

結論としては、帝国書院にこういういい点もあるのですけれども、私は、総じて東京書籍を推薦したいと思います。

委員長 坂田委員、よろしいですか。

坂田委員 中学校の段階ですので、公民を本格的に学ぶという趣旨にあるわけですが、そういう意味で、1点目に基礎的なことをきっちり抑えているということと、それから、子どもたちにとってなじみやすさが重要であると思います。

2点目に、小池先生も触れられた点になりますけれども、この分野というのは、答えが必ずしも一つに用意されているわけではないということで、多面的・多角的な捉え方があることを子どもたちに教えるということも重要だと思えます。

例えば、そういうことに有意義な方法としてはグループ学習があるわけですが、グループ学習の対応が、この教科書において用意されているかどうか、こことが一つの視点となります。

3点目に、私は、荒川区にとって地域的に重要となっている課題に関する学習の機会が多ければなおよいと考えております。

これら3つの視点を見ますと、東京書籍はバランスがよいかと思えます。また、例えば、伝統文化については、22ページから23ページ、それから、復興に関しては、112ページから113ページなど、荒川区が重視している課題をきちんと取り上げています。

地方自治の例ですけれども、ここでは、自転車の安全な利用を取り上げておりまして、105ページですが、これも荒川区らしいテーマで非常によいのではないかと思います。

それから、各章末に、この章の学習を確認しようというのがありまして、基礎的な理解を間違いなくする上では便利かと思えます。

教育出版は、発展的な内容を多く含んでおります。例えば、言葉で伝え合おうとか、読んで深く考えようとか、この点は優れているかと思いました。

清水書院は、深める公民で発展的な内容を取り上げております。ただ、やや字が多くて、それで、各章ごとにまとめがあったのがよいのではないかなと考えました。清水書院、編の末に、1ページずつのものがございます。

それから、帝国書院ですけれども、章ごとにあるトライアル公民というのは、クラスみんなで議論する材料としては、非常によいかと思います。

それから、自由社ですけれども、もっと知りたいを中心に発展的な内容を多く含んでいると思います。

育鵬社は、写真や図が多くて、わかりやすいものだと思いました。

日本文教出版は、公民ズームインとか、それから、情報スキルアップ、公民プラス など、総体的に見て発展的な内容の割合が多い、そういった印象がございます。

以上のことから、総合的に見まして、私は、第1に東京書籍、それから、第2に教育出版を推したいと思います。

委員長 高野委員、よろしく申し上げます。

高野委員 公民という種目は非常に難しく、社会のルールを知るのに初めて接する学問というのでしょうか、学問の初めであるということで、子どもたちに大切なところだと思うのです。社会とのかかわりを知る法則というか、常識的なことを知って、自分が基礎を十分に知って自分の考え方をつくる、そして、自分で答えを求めていくと。それが、いろんな方面につながって、社会との生活のかかわり、政治経済、人権、責任、義務、こういうところを勉強する。そして、どういうふうに考えるかということ教える。ほかの教科も重要ですが、社会人として生きるのに非常に重要だと思うのです。

そういう点からみると、僕は、先ほど小池先生からおっしゃられました、スーパーマーケットから社会を見るというのでしょうか、情報化を含めて大きく話が展開していく。そういう点で常識というか、自分の考え方を醸成するような仕組みができていて、これは、そういう点で考えてみますと、やはり一番重要な学問で、やはり基礎が十分にわからなければだめだと。そして、エネルギーの問題、人口の問題、食料不足の問題、地球全体の問題、そういうことまで展開ができるような子どもたちに成長してほしい。基礎がしっかりと書かれているのは、やはり東京書籍だと思います。そして、やってみよう、試してみようかないしは、ということは、社会生活の話題を取り上げて、身近なものとして考えて、自分の意見を教室でディスカッションしてくれたら、とてもいい教材になるというのは東京書籍ではないかと思って、これを一つだけ推薦します。

委員長 教育長。

教育長 私も先生方と同じように、公民については、自分自身の生活の基礎となる、社会がどのように成り立っていくのかということを知り、社会に関心を持つこと、そしてまた、社会生活を営む上で多様な考えがあると、そういった多様な考えを理解した上で、それで、なおかつ自分の考えをしっかりと持つということで、学習指導要領にもあるように、社会の形成者となる、資質を養うという大きな役割を果たしていると思っています。

そういった意味では、さまざまにグループ学習というか、いろんな考え方を理解しながら、自分の意見を出し合うということで、公民にチャンレジ、トライアル、チャレンジ公民、やってみようという、各社とも名称は違いますが、身近な課題を掲げて、グループ学習を誘導するような形で工夫がされていると思いました。

結論で申し上げますと、東京書籍については、各項目ごとに学習のねらいがわかりやすく示されておりまして、この授業では何を中心に学習すべきなのかというのがはっきりわかっておりません。

また、先ほども申し上げました、公民にチャレンジでは、グループ学習のヒントとなる課題が明確に示されており、そうした中で、釜石市の中学生に学ぶですとか、未来をつくる中学生など、先ほど冒頭申し上げました荒川区で今年度から始めた中学校防災部の活動とリンクした形で学習ができるということも見込まれておりまして、東京書籍を推したいと思っています。

委員長 それでは、私からの意見を述べさせていただきます。

公民の教科書を選ぶポイントとしまして、1点目としては、社会全体の動きをバランスよく多角的に考えることができる内容というのを考えました。

そして、2点目なのですが、対話と合意形成を重視しており、グループ活動が多いという点を考えさせていただきました。そういった点から、東京書籍と教育出版がいいのではないかと考えております。

東京書籍なのですが、今、各委員のほうから御意見が出ているかと思うのですが、非常に導入部分、興味を引く内容となっております。スーパーマーケットあるいはコンビニエンスストアなどの事例が出されております。これが1点目。

そして、2点目なのですが、グループでの話し合いを非常に重視しています。例えば、コンビニエンスストアの経営者になってみようという発問がされておりまして、郊外の町にコンビニエンスストアを経営するのであれば、どこに立地するのがよいかという発問がされているのですが、そういった発問に対して、自分だけで考えるのではなく、グループで考え話し合おうという導きがされておりまして、そういった点が、東京書籍の優れた点かと思えます。

次、教育出版なのですが、1点目として、ディベートを行ってみようということで、例えば、テーマに関しましても、監視カメラについてなど、現代的な課題がディベートのテーマとして設

定されておりまして、考えさせる手段が非常に多様であるといったことが指摘できると思います。

また、教育出版なのですが、社会権の項目の中で、荒川九中の夜間学級に関する記述もありまして、それなども、荒川区で使用する上では非常にメリットではないかなと思っております。

総合的に判断いたしますと、基礎力を重視しながら、考え方を深め、活用へとつなげることができるという点で東京書籍を推薦させていただきたいと思います。

ほかに御発言ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ほかに意見がないようであれば、採決に移ります。

御意見を伺っておりまして、5名の方が東京書籍がよいという御意見かと思えます。そのため、東京書籍を採択することにしたいと思いますが、異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議なしということですので、教科「社会」、種目「社会（公民的分野）」は、東京書籍を採択することといたします。

次に、地図なのですが、地図の採択が終わりましたら、10分ほど休憩をとりたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 では、次の地図の採択が終わりましたら、10分ぐらいの休憩とさせていただきます。

続きまして、教科「社会」、種目「地図」の審議・採決をいたします。

指導室長より、地図について説明をお願いいたします。

指導室長 教科「社会」、種目「地図」につきまして、調査研究のまとめの主なものを御報告申し上げます。

東京書籍でございます。単元構成でございます。基礎の習得学習および言語活動等の活用学習にも活用が可能である。単元構成でございます。各州、各地方の基礎資料、テーマ資料がある。

帝国書院でございます。表現でございます。統計資料は2013年版を使用している。表現でございます。資料が単純な数値ではなく、グラフなどが用いられ、地理的技能の習得がしやすい。

以上でございます。よろしく願い申し上げます。

委員長 教科「社会」、種目「地図」について説明がありました。御審議をお願いいたします。

高野委員、お願いいたします。

高野委員 地図に関しては、東京書籍と帝国書院、この2つがございまして、地図そのものに関してはあまり大差はないような印象を受けます。しかし、地図の中の特性が多く、そして、地図の資料が十分に説明されている帝国書院のほうがいいように思います。

実は、118ページに関東を見るというところがありますけども、そのところを見ますと、江

戸時代のものもあって、自然と産業とか、江戸時代の地図になっています。自然と産業、暮らしについて書いてありまして、さらに、荒川区のことも、帝国書院は載っております。そういうことを見ますと、地域の特徴を知るのにも情報がたくさん入っているということで、地図そのものは両社とも余り大差ございませんので、明瞭な違いもないのですので、帝国書院のほうがベターと考えます。

以上です。

委員長 小池委員、お願いいたします。

小池委員 地図を考えるに当たっては、第1に必要な資料、統計の裏づけと正確さを有していること、かつ資料も豊富であるということが第1。第2は、世界各地の地勢がわかるものがあればありがたい。第3、日本についても、各地域の地勢図と日本の地形の特色が把握しやすいもの。第4に、領土の境界は、北方領土、竹島、尖閣が含まれているが、それでよしと。

帝国書院も東京書籍も、いずれも上のような、今のような条件を満たしております。しかし、次のような点で帝国書院がよりふさわしいかと思えます。

第1、2013年版の最新資料を用いている。東京書籍のほうは2012年版です。それから、次のような鳥瞰図を含めている。アジアの鳥瞰図、21ページから22ページについてです。東京書籍のほうは、中国のみの鳥瞰図になっている。ちなみに、ヨーロッパと北アメリカ州の鳥瞰図は同じです。

それから、ちょっとこれはユニークなのですが、大阪から東京に至る本州中央部の鳥瞰図が含まれている、103ページです。

第3に、日本の地形を日本の周辺のプレートとともに、火山と地震の分布により示している、143ページ。こういう点から帝国書院がよりふさわしいかと思えます。

委員長 坂田委員、お願いいたします。

坂田委員 帝国書院は、地図の大きさや色も適切ですし、それから、資料や図の解説もわかりやすいかと思えます。

例えば、25、26ページには、地図の上に、これはアジア州ですけれども、代表的なものを少し絵で示してみたりとか、それから、36ページには、アジアの工業の構造変化というのがあるのですが、こういった構造変化の捉え方もわかりやすいと思えます。

それから、現在の特に産業、経済、生活の変化のスピードが非常に上がっておりますので、統計資料が新しいという点は評価できると思えます。

事象的には、アメリカでは今話題になっている「シェール革命」に関連して、例えば、シェールガス田なるものを取り上げていまして、統計的だけではなくて、内容的なものについての最新なものになっていると思えます。

東京書籍の内容的なものという意味では、例えば、州ごとの解析など重要なものも捉えているかと思えますけれども、総合的に見て帝国書院のほうがよいのではないかと思います。

委員長 教育長、お願いします。

教育長 高梨です。私も、以下、2点から帝国書院を推したいと思います。

まず、第1点は、地図が見やすいです、帝国書院のほうが。東京書籍については、とりわけ込み入っている地域については、字がごちゃっとして見にくいと感じます。ユニバーサルデザインの観点からすると、帝国書院のほうが見やすい構成になっております。

また、先ほど来、委員の方々からお話がありましたように、統計資料が、最新版の資料が帝国書院のほうが多く使われていまして、地理の授業を行う上で、やはり、最新の資料に基づく分析ですとか、判断を行うのに、帝国書院の地図のほうが有効に活用できるのではないかと考えてございます。

委員長 私から意見を述べさせていただきます。

私は帝国書院を推薦したいと思います。理由といたしましては、各委員のほうからも御指摘がありましたように、1点目、帝国書院は統計が新しい。2013年版の新しい統計が使われているという点を指摘させていただきたいと思います。

2点目、東京について詳しいということで、江戸時代を含めて、119ページから122ページにわたりまして、東京の詳しい地図が載っております。

3点目ですが、領土、領海、領国に関して明確に示しているという点を上げさせていただきたいと思います。

以上から、帝国書院を推薦させていただきたいと思います。

各委員から意見をお伺いしましたが、ほかに御発言ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ほかに意見がないようであれば、採決に移ります。

御審議を伺っておりまして、5名の方が帝国書院がよいという御意見かと思いましたが、そのため、帝国書院を採択することにしたいと思いますが、異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議なしということですので、教科「社会」、種目「地図」は、帝国書院を採択することといたします。

それでは、10分間の休憩をとりまして、午後3時40分から再開したいと思います。では、10分間休憩です。お願いいたします。

〔休憩〕

委員長 それでは、時間になりましたので、審議を再開いたします。

続きまして、教科「数学」、種目「数学」の審議・採決をいたします。

指導室長より、数学について説明をお願いいたします。

指導室長 教科「数学」、種目「数学」の調査研究のまとめの主なものを御報告申し上げます。

東京書籍でございます。内容でございます。学習課題が本文中に明示され、活動のねらいが生徒にわかりやすい。表現でございます。問題演習場面では、「例」「たしかめ」「問」の配列で、スモールステップ化を図っている。

大日本図書でございます。内容でございます。自学自習ための課題が数多く設定されている。また、丁寧な回答を掲載し、自己評価ができるようにしてある。単元構成でございます。全章に利用の節を設け、学んだことから事象を数理的にとらえる工夫がある。

学校図書でございます。内容でございます。授業における目標が明記されている。類推、帰納、演繹の3つの考え方が巻頭に明記されており、数学の基礎を学ぶことができる。章末問題は、基礎、発展、活用に分かれているため、習熟度で扱いやすい。単元構成でございます。目標、Q（てがかりの問題）、例題、考え方、解答例、問いの順で学びやすい構成である。注釈には、ふりかえり、伝え合い、活用する、見つける、関連する職業などの見出しがある。

教育出版でございます。内容でございます。基本問題は適度な量であり、応用問題についても多く取り上げ、習熟度別授業に適していると思われる。単元構成でございます。例題なども考え方が入っていて、よく工夫されて、指導しやすい構成である。

啓林館でございます。内容でございます。6ページから9ページに、生徒向けに学び方の説明が記述されている。必要に応じてこれらのページを使って、学ぶ姿勢を見直す時間をとれる。表現でございます。例題に基づいた問いがまとめられている。

数研出版でございます。内容でございます。例題は青色、問題は赤色を統一しており、見やすい。単元構成でございます。単元ごとに身近なことを取り上げるページや確かめの問題のページが設定してある。

日本文教出版であります。内容でございます。話し合いなどによる課題解決のためのページが設けられている。単元構成でございます。段階的に難しい内容へと構成されている。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

委員長 教科「数学」、種目「数学」について説明がありました。

御審議をお願いいたします。では、小池委員、お願いいたします。

小池委員 まず、数学についての一般的な判断基準ですけれども、第1は、小学校の算数は、ルールに従った計算を正確にかつ早くやるということが基本、土台だと思います。それに比べ、中学の数学は、いきなりグレードアップし、新しい概念を理解し、方程式という発想に慣れる必要があります。図形という分野、幾何の分野でも、新しい発想や課題に挑戦しなければならない。

すなわち興味を持つこととチャンレンジ精神が必要だと思います。

第2に、新しく学んだ概念や定義を土台として、次の段階にステップアップしなければいけない。基本をきちんと理解していないと次のステップに上がれない。どこかでつまずくと、その先には進めない。まじめに授業に出ている、それができなくなる。このような落ちこぼれ現象は容易に起こります。本人にその自覚がない、あるいは、教師ですら十分把握できないこともある、これが、中学の数学の難しさかなと思います。

第3に、学校の授業だけではどうしても足りませんから、家庭で復習できるような教科書の構成である必要があると思います。このような見地で7つの出版社の中から数研出版、東京書籍と教育出版を選びました。

まず、数研出版。第1、冒頭に出発前のクイックチャージという表題のもとに、8ページにわたって小学校で学んだ算数の内容が説明され、短い問いもあります。これは、短時間で自分のできぐあいをチェックするのに役立つと思います。

第2、各章で学ぶ内容を見開き2ページで印象づける。学ぶ目標がはっきり示されている。調査研究報告の頭に、量が適量でねらいが明確であると書いてありますが、全く同感です。

第3に、各章末に基本問題、問題AとBと独習し、自分の理解力をチェックできる仕組みになっています。また、学年末には、章ごとの問題集もあります。

第4に、数学2の冒頭に、出発前のクイックチャージ、10ページで1年の復習の問題を出しております。数学3の冒頭では、出発前のクイックチャージとして10ページで2年の復習の問題を出しています。それから、数学3の末尾には、1、2年の復習、それから、3年の各章はチャレンジ編に含まれている。このように、クイックチャージとチャレンジ編で落ちこぼれを減らす作戦かと思います。

次に、東京書籍。第1は、各章の初めに質問形式で、複数のアイデアを引き出す仕組み、考えを促す表現になっています。章末の問題A、B、繰り返し練習する仕組みはよいと思います。

第2、巻末問題編、算数のふりかえり、補充の問題、活用の問題、社会とのつながりという応用問題もあります。2年の巻末問題編では、1年のふりかえり、3年では、学びのつながりということで、1、2年のふりかえりを設けております。

次に、教育出版。第1は、指導要領に忠実に従っている。第2、調査研究を取り上げ、基本問題は適当な量であり、応用問題についても多く取り上げており、習熟度別授業には適していると思われるという報告を出しております。

第3に、同じく、例題なども考え方が入っていて、より工夫されていて、指導しやすい構成であるという報告になっております。

以上のような理由で、総合的に判断して、数研出版を推薦したいと思います。

以上です。

委員長 坂田委員、お願いいたします。

坂田委員 私は、数学は、教科書選定が最も重要な科目かと思っております。理解を深めるためには、まず、実践的な演習の積み重ねが欠かせないという性格があります。この面では、全ての教科書が基本的に条件を満たしていると思います。

2番目に、荒川区は、小学校4年生から習熟度別にクラスを分けて教えているわけですが、子どもたちの理解度も差異がかなりあるということを前提に、そういった理解度の差異に対応して教えることができる教科書であるということが重要かと考えます。

3番目に、小池先生もおっしゃいましたけれども、数学に関しては、発想だとか概念を子どもたちが適切に理解をするということが重要であります。発想とか概念の理解を助けるような教科書というのが重要かと思えます。

これまでみますと、東京書籍は全体的に親しみやすい印象があって、節の終わりに基本の問題、章の終わりに章の問題AとB、それから、マイノートが充実をしていると。それから、各年度の最後にはふりかえりの問題や補充の問題、活用の問題が充実をしています。

調査研究報告の中にもスモールステップとありますけれども、私はこういう形で、それについては、スモールステップでまとめて、スモールステップの形で区切って、きちっと抑えながら教えていくということが重要だと考えます。

さらに、習熟度別という意味では、もっと数学をしようというコラムで、学びの発展についてされている。本書は、そういう意味で、幅広い習熟度の子どもたちに対応できていると、特に対応できていると思います。

学校図書は、興味を引く写真やイラストが多くあります。また、問題、例題が多くて、それらがまとめの問題につながっているところが非常によいところだと思います。

それから、啓林館は、写真や大き目の図が多くて親しみやすいと思えました。ただ、もう少しスモールステップに考慮をして、まとめがあったほうがよいのではないかと思います。数学ひろばでは、先ほどと同様な意味で、発展性を考慮し、難しい内容も扱っているという幅の広さがあります。

日本文教出版も、同じく印象しては、もう少しスモールステップ化をして、例えば、節の終わりにきちっとまとめを置くとか、そういったことがほしいかなと思います。章ごとに確かめや問題が整理されていて、その点は評価できます。巻末にマイトライだとか数学研究室として発展性を考慮しているというところがあるかと思えます。

ざっと代表的なコメント上げさせていただきましたけれども、以上、総合的に見まして、私は東京書籍を推したいと思えます。

委員長 高野委員、お願いいたします。

高野委員 数学、基本的な概念とか、原理、原則、ルールを学ぶ、こういう規則を当てはめるということを初めて中学生で学ぶということで、それには、正と負、方程式、図形、こういうことの基本はどういうものになっているのだということを根本的に学んで、それには、やはり復習ということが極めて大切だと思います。学習問題は本文にはっきりと明示されて、ねらいが生徒にわかりやすいということと、演習問題で確かめる、段階的になって、内容が極めて段階的なのです。

今、坂田先生が御指摘のように、東京書籍はスモールステップがあって、きちんとしたものを覚えるのに頭を整理できます。もう一つ加えますが、同じところが段階的で発展的により進めることができるだろう。まとめ、各節の章のあたりに、マイノートがあったり、これは適切な本であろうと思います。

一方、教育出版なのですが、大変すっきりしていて、わかりやすく、取り組みやすいのだろうなど。そして、身近な問題がたくさん、理解づけられるように、ちょっと記憶正しいかどうかわかりませんが、宇宙のことについて出ていたと思いますが、そういうふうに理解させようという工夫が十分なされております。例題などがたくさんあって、考え方が大変工夫されておられて、まとめがあって、練習問題、レツトライの時間、応用力を養えるだろうということといいと思いました。

次に、大日本図書の特徴は、自主的に勉強しやすいようにできている、繰り返しの項目が、まとめと調整ということにある。

こんなふうに3社ありますが、大日本図書、日本文教出版に関しましてもそれぞれ素晴らしいところがありましたけども、基本的に考えますと、やはり、スモールステップがあるということが大きなキーポイントになりまして、東京書籍を私も推薦したいと思います。

以上です。

委員長 教育長、お願いいたします。

教育長 高梨です。先ほど坂田委員からもお話がありましたように、荒川区では、中学校、習熟度別学習を基本に2展開、3展開で行っております。小学校からの延長ということで、小池委員からもお話がありましたけれど、中学生ぐらいになると、数学が得意な子と得意でない子という形で分かれてきております。得意でない生徒にも、確かな学力を定着させるために、教員は大変苦労しながら授業を実施しておりますけども、そういった子どもたちにも、学習指導要領にも書いてありますように、数学的活動の楽しさですとか数学のよさ、具体的には数学を学ぶことによって、こんなに生活に役立つのだということを実感できる仕掛けをしている教科書を選びたいと思った次第です。ですので、応用問題というよりは基本問題を中心にわかりやすく記述してあ

るというか解説してある教科書を選びたいと思った次第です。そうした意味において、具体的には、2年生の連立方程式と3年生の三平方の定理という項目、それぞれの項目で各社を比較いたしました。結論的には、やはり、東京書籍が最も丁寧に記載されておりまして、配色も落ち着いた見やすいですし、数学嫌いの生徒にも、導入としてわかりやすい形で授業に入っていける内容になっているかなと思った次第です。ということで、東京書籍を推したいと思います。

委員長 私からの意見を述べさせていただきたいと思います。

数学の教科書の選定に当たりましては、まず、1点目として、生徒の関心を引きつけ、学力の定着を図るという点を重視させていただきました。

2点目としては、家庭学習というのが非常に重要だと思っておりますので、家庭学習でも使いやすいということをポイントとして検討をさせていただきました。

各社非常に工夫がされておりまして、選定に非常に迷いましたが、結論から言わせていただきますと、東京書籍がいいかと思っております。

ほかの先生もいろいろと御指摘がありましたので、その部分は省略をさせていただきまして、1点だけ東京書籍ということで、それをどうして推薦するのかということに関してつけ加えさせていただきますと、東京書籍の場合に、デジタル教材が非常に充実していて、それが現場の声として上がっているということを指摘させていただきたいと思います。

それでは、ほかに御発言ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ほかに意見がないようであれば、採決に移ります。

御審議を伺っておりまして、大方4名の方が東京書籍がよいとの意見かと思われました。そのため、東京書籍を採択することにしたいと思いますが、異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議なしとのことですので、教科「数学」、種目「数学」は、東京書籍を採択することといたします。

続きまして、教科「理科」、種目「理科」の審議・採決をいたします。

指導室長より、理科について説明をお願いいたします。

指導室長 教科「理科」、種目「理科」の調査研究のまとめの主なものを御報告申し上げます。

東京書籍でございます。表現でございます。写真・図版が豊富であり、視覚的に訴えるものになっている。単元構成でございます。問題提起が興味をひく。

大日本図書でございます。内容でございます。「暮らしの中の理科」の記事など、具体的な例示、トピックスが多く掲載されている。表現でございます。イラスト等の表現を活用することで理解を助けるような配慮がされている。

学校図書でございます。内容でございます。「科学を仕事に生かす」の単元では、連載記事が掲載されている。単元構成でございます。単元の冒頭に、小学校等での既習事項が1ページで掲載されている。

教育出版でございます。内容でございます。注釈に当たる部分など、文章による説明が多い。内容でございます。専門的な説明が多く掲載されている。難易度が高い部分がある。

啓林館でございます。単元構成でございます。探求よりは知識を示す傾向の構成である。使用上の便宜でございます。付録ノートがついている。

以上でございます。

委員長 教科「理科」、種目「理科」について説明がありました。御審議をお願いいたします。坂田委員、お願いいたします。

坂田委員 一つは、理科の特徴としましては、社会は、地理、歴史、公民の3つの科目に分かれておるのですが、理科は、小学校の理科と1対1対応ですので、総体的に見て小学校との接続が重要な科目かと思えます。

もう一つ重要な点としまして、今、理科嫌いが増えているというような社会的な認識があるわけですが、私の印象としては、小学校段階では、子どもたちの理科嫌いという印象はあまりなくて、むしろ社会より理科のほうがなじんでいるというようなところがあるかと思えます。そういう意味で、子どもたちの将来の可能性を伸ばすために、中学校段階で理科嫌いにさせないような工夫が非常に重要かと思えます。

教科書を比較しますと、悩ましい基礎と発展のウエートをどう置くかというところがあります。発展的な内容の多い教科書の魅力っていろいろあるのですが、先ほどのような荒川区の子どもたちの多様性も考慮して、私としては基礎のほうを充実する考え方で選定をさせていただきました。

東京書籍は、写真や絵が興味を引くものであって、かつわかりやすいかと思えます。例えば、1年生ですが、33ページにある葉のつくりの説明、これを見ますと、印象的に理解ができます。

また、ステップごとの説明がきちんとあって、それから、小さいまとめが教科書のあちこちにあるということも評価できます。

単元末に学習内容の整理、たしかめと応用、学びを広げようというコラムがございまして、こういった点が非常に充実をしています。

それから、学校で実験を行うわけですが、実験の説明もわかりやすいかと思いました。

大日本図書は、写真とイラストが親しみやすいと思えます。また、単元末に3ページずつを割いてまとめと問題があるのがよいかと思いました。

総体的に見て、例えば、ニュートンだとかラヴォアジエだとか科学史上の重要人物があちこち

に紹介されていまして、科学史が重視されているかなという印象です。

教育出版は、発展的な内容を多く含んでいまして、代表的な紙面としては、ハローサイエンスというのがあります。例えば、3年生の90ページには、力学的なエネルギーの保存の問題だとか、こういったものも取り上げられています。

学校図書は、冒頭にこれから学ぶこと、これまで学んできたことがありまして、最初に申し上げた小学校での学びとの接続という意味では、最も優れているかと思います。

また、章末には学習の確認、単元末に学習のまとめ、単元末問題、活用資料が充実をしています。

3年生の最終単元は科学と社会の橋渡しをする内容で非常によいかと思います。

啓林館は、やはり、総体的に見ると、発展的な内容がやや多く含む教科書かと考えます。実験、操作の説明は非常に詳しいものがあります。

以上、それぞれよいところがございませけれども、総合的に見て、私は、第1に東京書籍、第2に学校図書を推したいと思います。

委員長 小池委員、お願いいたします。

小池委員 理科の教科書の選定に当たっての私の判断基準、第1は、実験と観察を重視していること。第2は、説明がわかりやすく興味を抱かせる内容であること。第3に、理解の程度を系統的に整理して、反復学習できるようになっていること。特に、この第1点目の実験と観察と密接に関連しますけれども、荒川区の中学では、実験設備は十分そろっているものと理解しております。このような判断基準によって、東京書籍と大日本図書を選択いたしました。

まず、東京書籍。第1に、特に実験と観察を重視している点は申し分ないと思います。第2、説明の詳細で興味を抱かせる内容になっていると。第3に、各単元の終わりに学習内容の整理及び確かめと応用の欄を反復学習できる仕組みになっています。これは、坂田先生も指摘されたことです。

次に、大日本図書。第1に、同じように、実験と観察を重視していることは東京書籍と同様です。第2に、説明も、例えば、火山の説明では、日本列島の地図に火山を書き込むなど、1年生の204ページです。生徒に身近なものとして興味を抱かせる火山についての科学的な説明をしていると思います。第3に、特に優れていると思うのは、各単元の終わりにまとめの中に、キーワードとイラストを組み込んでおりますが、単元末問題とあわせて、反復学習する上で役立つと思われました。

ということで、両社とも甲乙つけがたいほどによい教科書だと思いますが、総合的に判断して、私は、大日本図書を推薦したいと思います。

以上です。

委員長 では、高野委員、お願いいたします。

高野委員 これも大変悩んだところですが、2つの観点があります。一つは、実験について書かれていること。そこを中心に、やはり、実験から物事を覚えるのは大変いいだろうと思ひまして、そういうことであります。物理学的なエネルギー、科学的なことに関して、また、生物に関して、いろいろ学べるほうがいいだろうということで、そう明確に書かれておりましたのが、挿絵や図が美しく大変理解しやすく、内容も充実しているということで、生命を維持する仕組みについて詳細に一番よく書かれているのではないかなというふうに鑑みまして、実験とか生命の維持と主に立場から見ました学校図書がいいと考えといたしました。

そのほか、各先生が御指摘いたしましたように、東京書籍も、やはり基礎から、それから、実験を含めて十分にしっかりしておりますが、生命の維持、それから、エネルギーの仕組み、物理学的な実験、そういうことを含めて、学校図書がいいと思ひました。

それから、大日本図書ですが、構成がきちりしてしまひて、説明が多くて、他の教科書より少し情報が多いのかなという印象を受けました。

それが、理科の3社に対する印象であります。そういうことで、私は、学校図書を推薦いたします。

委員長 教育長、お願いします。

教育長 高梨です。私も、小池委員と同じように、東京書籍か大日本図書かということで迷いました。教育指導要領にもありますように、自然の事物や現象についての理解を深めて、科学的な見方や考え方を養うということで、これも、数学と同じで、中学生になってくると、理科が好きな子と嫌いな子にかなり分かれてきてしまひて、理科的なものの見方について、なるべく多くの生徒たちに関心を持ってもらうために、最も優れた教科書はどれなのかと選定をしました。

具体的には、1年生では光合成、2年生ではオームの法則、3年生ではイオンについてそれぞれ各社でどのような記述がなされているかを調べました。

その中で、大日本図書については、まとめが、ほかの教科書会社もまとめが設けられているのですが、最も見やすく理解しやすいようになっています。單元ごとに注釈も設けられておひまして、授業ポイントがまとめた問題でわかりやすく整理されておひます。また、学んだことを生かそうということで、各章で学んだ内容が、生活の中でどのように生かせるかということについての課題も整理されておひます。

ちなみに、東京書籍では、フロームジャパン日本科学ということで、各項目ごとに、日本の最先端の科学の状況が紹介されておひまして、これは、本当に理科が好きな子たちが、将来自分のこの道に進みたいと思えるような興味深い内容になっていると思ひました次第です。

結論として、全体としては大日本図書を推したいと思ひます。

委員長 では、私の意見を述べさせていただきたいと思います。

理科の教科書選定のポイントとしましては、1点目は、実験を重視しているということ、2点目としては、生徒にとってわかりやすく興味を引く内容であること、特に、日常生活における現象と関連づけて理解ができるということを選定のポイントとして挙げさせていただきたいと思います。その上で、大日本図書と東京書籍がいいのではないかと思いました。

大日本図書ですが、1点目は、委員の皆様方の御指摘いただいているように、実験重視で、東京都の教科書調査研究資料でも、実験を扱った教材が5社の中で最も多いということが指摘されております。

2点目として、日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所が非常に多く、暮らしの科学という中で、例えば、音を使った漏水検査であったりとか、そういった紹介がされておりました、興味を引くものになっていると思います。

次に、東京書籍ですが、東京書籍の教科書のいい点として、指示が非常に明確な点が指摘できると思います。例えば、地震プレート境界の話題の後で、日本列島付近で地震が起こらなくなることはあるのだろうかと話してみようといった、そういったような指示がされておりました、非常にその指示が明確であるということが指摘できると思います。

それと、2点目として、どこでも科学といったコーナーがありまして、例えば、コンニャクで地震を感じようということで、コンニャクを使つての振動の実験がありまして、ありふれたもので科学体験ができるような、そういった指示がされている、そういったところも優れているかと思ひます。

いろいろと検討させていただきまして、指示が明確で指導しやすいということから、東京書籍を推薦させていただきたいと思ひます。

ほかに御発言ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ほかに意見がないようであれば、採決に移りたいと思ひます。

御審議を伺っておりまして、推薦が3社出ておりまして、ここ1社に絞り込むことが難しいと思ひました。そのため、議案記載の順に発行者名を上げ、挙手していただき、採決したいと思ひますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、理科、まず、東京書籍。

〔賛成者挙手〕

委員長 2名。大日本図書。

〔賛成者挙手〕

委員長 2名。学校図書。

〔賛成者挙手〕

委員長 1名ということでございます。ありがとうございます。いずれの発行者も過半数に達しませんでしたので、教科「理科」、種目「理科」については、教科「外国語」、種目「英語」の採択が終わった後に、改めて審議を行いたいと思います。

続いて、教科「音楽」、種目「音楽一般」の審議・採決をいたします。

指導室長より、教科「音楽」、「一般」について説明をお願いいたします。

指導室長 教科「音楽」、種目「一般」につきまして、調査研究のまとめの主なものを御報告申し上げます。

教育出版でございます。内容でございます。全学年、全21曲の多様な歌唱教材は、生徒の実態や発達段階に応じ選択できるよう工夫されている。表現でございます。全学年鑑賞教材において、具体的な活動を設定している。興味、関心を持ちやすいキャラクターが学習活動例を示す配慮がある。

教育芸術社でございます。内容でございます。学習内容を「音楽学習map」で示し、理解力や技能が身につくように配慮している。表現でございます。共通教材は「心の歌」と題して明確に示している。また、生徒の知的好奇心や感受性を働かせながら歌うことができるよう配慮がある。

以上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

委員長 教科「音楽」、種目「音楽一般」について説明がありました。御審議をお願いいたします。小池委員、お願いいたします。

小池委員 この音楽の一般は次に出てくる種目の器楽合奏と密接に関係しておりますので、同じ会社のほうがよろしいかと思っておりますので、一般と器楽合奏あわせて審議したらいかがでしょうか。

委員長 あわせて審議したらいかがでしょうかということなのですが、よろしいでしょうか。異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議なしということで、では、一緒に審議をさせていただきたいと思っております。では、小池委員、お願いいたします。

小池委員 一般論ですけれども、音楽一般それから器楽については、まず、何といたっても楽しむことと、自分の演奏、それから、他人の演奏を聞くと見る、器楽は聞くです。それから、それをより楽しむために、作曲家の意図や音楽の構成等の背景と音楽理論を学ぶということだと思っております。そういう意味で、教育芸術社があらゆる面で教育出版より優れていると私は考えます。

第1は、編集方針一般を歌唱、創作、鑑賞に分けているのに対して、教育出版のほうは、第1、

音楽の様子を捉えながら、2、さまざまな音楽文化、3、歌い合わせ、聴き深める喜びという、私にとっては、やや意味不明な3つのジャンルに分けてあります。

第2、教育芸術社の説明というのは、極めてわかりやすくなっています。例えば、ベートーベンの交響曲第5番の例ですけれども、この違いというのは歴然としているかと思えます。

第3に、教育出版は、素人には達成不可能な創作活動を求めています。例えば、音のスケッチという中において、太鼓のための音楽をつくろうとか、構成を工夫して琴で表現してみようとか、玄人でもなかなか難しいような創作活動を求めています。

第4としては、器楽の演奏について、教育芸術社は指の使い方と、音程、和音の関連を詳しく説明して、初心者でも練習すれば基本的な音を出せるような内容になっているかと思えます。ということで、教育芸術社を推薦したいと思えます。

委員長 坂田委員、お願いいたします。

坂田委員 私は、音楽につきましては2つ重要な点があると思っております。

一つは、小学校と違って、どちらの教科書もそれに対応しているのですが、非常に多くの、楽器に対応する形で学ぶ必要がある。それから、もう一つは、小学校ではやや知識的な面では、それほど多く教えているわけではないのですが、中学校になると、そういったものも多くなる必要性が出てくるということかと思えます。

そういう面で見みますと、私は、教育芸術社のほうが、多様な活動についてわかりやすく捉えていて、知識的な面に関しましても、読みやすい印象を持ちました。

教育出版のほうも、知識面の説明はやや詳しくていい面はあるのですが、全体的に見て、教育芸術社のほうを推したいと思えます。

委員長 高野委員、お願いいたします。

高野委員 音楽一般、器楽合奏も含めまして、音楽って何だろうと考えますと。合奏教材によって楽しさを味わう、心の豊かさを醸成するということが主題だと思うのです。どういうふうな方法があるかということも考えまして、まず、マイヴォイスという欄がありまして、発生の生理学的な部分がかかれていました。写真が多くて、内容が豊富、そして、音楽の鑑賞の方向まで記載されている、こういうふうに全般にわたったほうがいいのではないかと考えました。そして、器楽合奏のほうに関しては、多くの楽器を学ぶ方法として、楽器の種類も多いですし、それから、優しいものから難易度の高い楽器まで段階を追ってきちっと説明されている。身近にとってみたいなという感じを誘うような印象持たせます、教育芸術社のほうを推薦したいと思えます。

委員長 教育長、お願いいたします。

教育長 高梨です。私も皆さんと同じように、音楽一般、そしてまた、器楽についても、教育芸術社を推したいと思えます。音楽一般につきましては、目次にそれぞれの楽曲のねらいが明示さ

れておりまして、全体の構成を統一されていて、わかりやすい、学習しやすい構成になっております。

また、楽曲、器楽についても写真や解説が見やすい構成になっておりまして、先ほど高野委員からも御指摘がありましたけども、楽曲の難易度も次第に難しくなっていく、優しいものから次第に難しくなっていくという配列になっておりまして、授業でも活用しやすい構成になっているかと思えます。

以上です。

委員長 では、私からの意見を述べさせていただきたいと思えます。

私も、教育芸術社がいいと思えました。いろいろ先生方、委員の方々の意見がありましたので、一点だけつけ加えさせていただきますと、教育芸術社は非常に見やすい教科書になっているということを指摘したいと思えます。

例えば、ベートーベンの交響曲第5番運命なのですが、これに関しましても、非常に見やすく説明がされておりまして、そういった点から、教育芸術社が優れていると思えました。

それでは、ほかに御発言ありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ほかに意見がないようであれば、採決に移ります。

御審議を伺っておりまして、5名の委員が教育芸術社がよいとの御意見かと思えました。そのため、教育芸術社を採択することにしたいと思えますが、異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議なしとのことですので、教科「音楽」、種目「音楽一般」及び種目「音楽器楽合奏」に関しましては、教育芸術社を採択することといたしたいと思えます。

続いて、教科「美術」、種目「美術」の審議・採決をいたします。

指導室長より、美術につきまして説明をお願いいたします。

指導室長 教科「美術」、種目「美術」の調査研究のまとめの主なものを御報告申し上げます。

開隆堂でございます。表現でございますが、生徒を活用している写真が多く、製作工程がよくわかる。単元構成でございます。鑑賞作品が充実していて、鑑賞授業に使いやすい。

光村図書出版でございます。表現でございます。製作の流れを詳細にわたり、写真つきで紹介している。使用上の便宜でございます。より細かい部分まで見える拡大写真を取り入れている。

日本文教出版でございます。内容でございます。「美術1」で1冊、「美術2・3上」で1冊、「美術2・3下」で1冊、全体で3冊にまとめている。地域性でございます。2・3下の背表紙の裏のところに「都電」をイメージさせる電車の写真がある。

以上でございます。よろしく御願い申し上げます。

委員長 教科「美術」、種目「美術」について説明がありました。御審議をお願いいたします。では、教育長、お願いいたします。

教育長 開隆堂については、南千住で行ったフロータージュの魅力をとということで、1年の29ページにその実際の様子が掲載されておりまして、大変、荒川区にとっていいと思った次第です。

また、ただいま調査研究報告にもありましたように、優れた鑑賞作品が多く掲載されておりまして、美術については、作品の製作だけではなく鑑賞ということもありますので、優れているかなと思われました。

一方、日本文教出版では、生徒の作品事例ですとか、作家の作品が最も多く掲載されておりまして、生徒たちがそれぞれの課題について製作する上でヒントになるのかと思っております。それぞれの单元についても、項目が具体的で、教員にとっては教えやすい構成になっていると思っております。

以上のことから、開隆堂も大変捨てがたいのですけれども、日本文教出版を第1に推したいと思えます。

委員長 小池委員、お願いいたします。

小池委員 3社についてそれぞれコメントいたします。

まず、日本文教出版。第1に、中学では美術を系統的に学ぶというよりも、感性を豊かにして、造形とかデザインなど身近なものにヒントを見出し、美術創作と鑑賞の幅を広げるねらいがあると思います。また、いろんな素材が活用できることを学ばせる、情報を伝えることやデザインの効用も伝えております。第2に、優れた作品に身近に触れて感動する。写真も大きくて、豊富に取り入れております。

次に、開隆堂。第1は、生徒の作品が圧倒的に多く、自分の仲間がこういうユニークな発想でいろんなチャレンジをしていることに自信を持たせ、やる気を起こさせる内容となっております。第2に、アイデアに加え、構図や色彩を工夫することによって、一味違うものができることを知ることができると思います。また、日本の伝統の美を見る目も違ってくると思います。

次に、光村図書。第1は、特色は、デッサンや絵の具の使い方、さまざまな技法で描く、また、文字をデザインするなど作品をつくり上げるプロセスに踏み込んでいることや、紙、木、竹、土などの素材の生かし方に踏み込んでいるのがおもしろいと思います。第2、エッシャーのだまし絵や光と影の遊び、共同製作の楽しみなど、生活を豊かにすることを示していると思います。

3社ともこのようにすばらしいわけですがけれども、私は、日本文教出版を推薦したいと思えます。

委員長 では、高野委員、お願いいたします。

高野委員 他の委員が日本文教出版を推薦していましたが、美術1年生、2年生、3年生に分かれて、出会いと広がり、美の探究、学びの深まり、自分の展開をだんだんと進めていく、そして、極めて多く作品があります日本文教出版。感性を養うのにとてもよいという点で、発達段階にあわせて系統的に構成されているというメリットがありました。それから、構想の思考過程を、もう一度繰り返すようですが、徐々に膨らませていくことで、この本が理想的な中学生に値するのかなと、希望を持たせるような作り方であると。私は、日本文教出版を推薦いたします。

以上です。

委員長 坂田委員、お願いいたします。

坂田委員 私は、開隆堂のほうは、写真の素材が非常によくて、この分野は、鑑賞と製作の2つの面があるわけけれども、鑑賞という面では非常に優れていると思います。内容的には、伝統的なものから非常に現代的なものまで、広くバランスよく取り上げていると思います。現代的なものとしては、例えば、1年生の45ページ、チームラボをつくっているわけで、子どもたちが書いた魚の絵なんか泳ぐ水族館があります。今これが非常に人気だと思いますけども、そういった近代美術を用いたようなその技術が求められていると思います。

一方、日本文教出版のほうは、特に、広めて、深めて、鑑賞するという3冊構成が妥当だと思いますし、それから、見て感じて、描く、これは8ページですか、身近なものを立体であらわす、これは10ページですね。それから、材料を対話して、16ページなど、能動的な表現のもとで子どもたちを動かそうというような工夫があるかなと思います。

そういうことで、総合的に見て、私も日本文教出版のほうを推したいと思います。

委員長 私からの意見を述べさせていただきたいと思います。

開隆堂につきましては、先ほど教育長が触れられましたように、南千住でのフロータージュの教材を取り上げているということで、この点、荒川区で使うことに関して非常にメリットがあるのではないかと思いました。

日本文教出版ですが、日本文教出版の特徴としては、作品の数が多いということ上げることができます。この作品の数が多いということなのですが、専門のアーティストによる多様な作品があるということとともに、生徒の作品も多いということが指摘できます。

美術におきましては、優れた作品に触れて感動すると同時に、生徒の優れた作品を紹介して、生徒たちに自分でもつくってみようという意欲を喚起することが重要と思います。

以上から総合的に判断しまして、日本文教出版を推薦したいと思います。

ほかに御発言ありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ほかに意見がないようであれば、採決に移ります。

御審議を伺っておりまして、5名の委員が日本文教出版がよいとの御意見かと思いましたが、そのため、日本文教出版を採択することにしたいと思いますが、異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議なしということですので、教科「美術」、種目「美術」は、日本文教出版を採択することといたします。

それでは、続きまして、教科「保健体育」、種目「保健体育」の審議・採決をいたします。

指導室長より、保健体育について説明をお願いいたします。

指導室長 教科「保健体育」、種目「保健体育」の調査研究のまとめの主なものを申し上げます。

東京書籍でございます。内容でございます。各単元の最後に確認問題があり、振り返りができる。単元構成でございます。各学年ごとに保健分野の後に体育分野と構成されていて、生徒も理解しやすく、教師も系統的に指導しやすい。

大日本図書でございます。表現でございます。写真の資料は、現代のものが多く、興味を持つことができる。単元構成でございます。バランスよく「学習課題 考えよう 本文資料 学習を活かして」の流れがスムーズである。

大修館書店でございます。内容でございます。コラムは、学校生活に役立つ内容になっている。表現でございます。論理性や具体的なものの表記がされており、資料がわかりやすい。

学研教育みらいでございます。表現でございます。生徒が理解しやすい表現になっており、資料は内容に則している。単元構成でございます。単元構成は適切であり、各章のまとめ問題が活用しやすい内容になっている。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

委員長 教科「保健体育」、種目「保健体育」について、説明がありました。御審議をお願いいたします。高野委員、お願いいたします。

高野委員 私は、大日本図書を推薦いたします。その理由は、荒川区の保健体育の授業、講義時間というのでしょうか、7時間前後であるということが大きな理由です。そして、実技の体操のほかに、講義を有するのはどこがいいだろうということを重点として選びました。この重点項目は中学生ですので、実技のほかに重要視してほしいなと思うことですが、中学生ですので、思春期という非常に微妙な年代になります。心と体の成長が最も難しい年齢ですので、そのことを十分に理解して、社会に巣立ってほしいと思っております。そして、心の発達、生命と健康道德の重点というふうに考えて、ここが一番書かれているということで、大日本図書を選んだのですが、特に、酒、たばこ、薬物、感染防止など、非常によく書かれております。図も文章も明確で理解しやすいと思います。さらに、45ページに、吹奏楽団の絵が、荒川区の学生が写っている写真が出ておりますところ、18ページに体育館が出ております。ということを含めまして、ルー

ルは実際に覚えるだろうということを、こういうことを授業でもきちっと本を使ってやるべきだというふうに思いまして、大日本図書を推薦いたします。よろしく申し上げます。

委員長 では、小池委員、お願いいたします。

小池委員 大日本図書ですけれども、第1に、体育編はイラストが多く極めてわかりやすい。特に、運動やスポーツの多様性というのがわかりやすいと思います。第2に、保健編は、イラストもグラフも多い。特に成長期の変化です。生命を生み出す体への成熟、それから、生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物乱用などについて極めてわかりやすく書かれていると思います。

次に、東京書籍ですけれども、第1に、学年ごとに保健編を前に体育編を後ろに配置して、イラストとグラフが多くてわかりやすい構成になっております。

第2に、1年の保健では、生殖機能の成熟を詳しくわかりやすく説明している。体育では、スポーツ大会で行う人、見る人に加えて支える人が必要なことを説明している、これは重要なことだと思います。

第3に、2年の保健で出色なのは、応急手当と心肺蘇生について、何と4ページにわたってイラスト、写真で詳しく説明している。ここを私は評価しました。それから、保健及び体育の章末資料が充実しているということも大変わかりやすいと思いました。

第4に、3年の保健では、生活習慣病の予防の説明がイラスト、グラフを用いて詳しく説明されております。それから章末の資料で薬物乱用、免疫と予防接種などをわかりやすく取り上げていて、確認をする問題もよいかと思います。

ということで、総合的に判断して、私は東京書籍を推薦いたします。

委員長 では、坂田委員、お願いいたします。

坂田委員 個別の御指摘については、既に両委員おっしゃったとおりだと思います。総合的に見ると、東京書籍のほうが、東京書籍は1年、2年、3年に明確に分かれているわけですが、そういったことも含めて系統性が非常につくり込まれているということが優れたところだと思います。一方で、大日本図書のほうは、高野委員おっしゃったように、予防医療だとか、そういったような重要な点についてかなり内容が充実をしていると。それから、親しみやすいといえますと、私は、大日本図書が親しみやすいという感じがいたします。最後、ちょっとどちらを選ぶかなかなか悩ましいところでございますけれども、私は、高野先生の御指摘の内容の重要なところを重視いたしまして、大日本図書のほうを推したいと思います。

委員長 教育長、お願いします。

教育長 高梨です。保健体育という科目ですけども、体育は実技が多くて、保健について、重点的に取り扱っている教科書、充実した教科書を選びたいと思った次第です。

そういった意味では、委員の皆さんがおっしゃったように、東京書籍と大日本図書のどちらか

ということでかなり迷いました。東京書籍については、説明が詳細で、資料が豊富で、先ほど小池委員からもお話がありましたように、A E Dも含めた形で、かなり全般にわたって丁寧な解説が掲載されております。また、学年ごとに系統的に構成されているのも魅力的ですし、73ページでは、釜石東中学校の防災活動について記述があり、冒頭申し上げましたけれども、荒川区の防災部、釜石東中学校に行って、釜石東中学校での防災活動について学んできたということで、より親近感が湧くのではないかなと、この東京書籍を見れば、より親近感が湧くのではないかなと思った次第です。

一方、大日本図書は、説明は東京書籍ほど細かくありませんけれども、バランスがよく見やすい構成になっていること、そして、何より心の健康に重点が置かれておりまして、中学生として自分らしさとか、自分のよさを確認する上で大変効果があると思っております。私どもとしては、1人1人の生徒が自分に自信を持って将来に希望を持てるような子どもたちに成長してもらいたいと思っております。るる申し上げましたが、大日本図書を推薦したいと思っております。委員長 私からの意見を述べさせていただきます。

東京書籍あるいは大日本図書がよいのかなと思いました。大日本図書に関していいますと、写真や図がリアルでインパクトがあるという点を指摘させていただきたいと思えます。

東京書籍に関してなのですが、これは、荒川区の中学校教科用図書調査研究報告書などでも指摘されているのですが、1年、2年、3年と学年別になっていて指導しやすいといった指摘がございます。そういった点から、総合的に考えて、東京書籍を推薦させていただきたいと思えます。

ほかに御発言ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ほかに意見が出ないようであれば、採決に移りたいと思えます。

東京書籍と大日本図書が出ているかと思えます。では、確認をさせていただきまして、議案記載の順に発行者名を上げ、挙手していただき、採決をしたいと思えます。

では、初めに、東京書籍、挙手お願いいたします。

〔賛成者挙手〕

委員長 2名。大日本図書。

〔賛成者挙手〕

委員長 3名です。それでは、3名の方が大日本図書ですので、教科「保健体育」、種目「保健体育」に関しては、大日本図書を採択したいと思えますが、異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、教科「保健体育」、種目「保健体育」につきましては、大日本図書を教科用図書に採択することに決定いたします。

続きまして、教科「技術家庭」、種目「技術家庭（技術分野）」の審議・採決をいたします。

指導室長より、「技術家庭（技術分野）」について説明をお願いいたします。

指導室長 教科「技術家庭」、種目「技術分野」につきまして、調査研究のまとめの主なものを御報告申し上げます。

東京書籍でございます。内容でございます。情報モラルの内容について、イラストを効果的に使用しわかりやすい。単元構成でございます。キャビネット図や等角図のかき方の手順がしっかり記載されている。

教育図書でございます。表現でございます。手書きの図表を用い挿絵、写真はわかりやすい。地域性でございます。はじめの上空写真でスカイツリーの後ろに、荒川区の南千住地区の一部が掲載されている。

開隆堂でございます。内容でございます。情報モラルや作品の図や表がわかりやすく表現されている。単元構成でございます。ガイダンスの構成、内容がわかりやすく仕上げられている。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

委員長 教科「技術家庭」、種目「技術家庭（技術分野）」について説明がありました。

御審議をお願いいたします。坂田委員、お願いいたします。

坂田委員 技術分野は4つのカテゴリーに分かれているわけですが、4つのカテゴリーで取り組み方が少し違うと思います。材料だったり、エネルギー変換だったり、こういったものについては、我々が実際に接するインターフェースの限界がありまして、実際に実験してみるといろいろ制約があるわけですが、一方で、例えば、情報については、我々が日々触れる、かつ我々が実際にそれを使って何かとするというようなことが可能です。

こういったことについて、授業についても、情報とその他の分野によって、少し差を持った構成が必要になってくるかなと思いました。

こういった中で、開隆堂ですが、情報分野では、3Dプリンターとか自動運転、それから、人間ロボットなど非常に新しい分野を取り上げていると思います。情報分野は、そういった最新の非常に変化が大きい分野でございますので、最新のものを取り上げるというのは評価できる点かと思えます。

また、昨今、子どもたちにとって重要になっている情報モラルという点につきましては、狭い意味でのモラルと、それから、広い意味で情報モラルに入る個人情報、それから、知的財産等といったような点についての解説が非常に充実していると思います。

また、全体を通して、内容的に理解しやすい構成になっていまして、学ぶべきポイントについてもわかりやすくなっているかと思えます。

以上のようなことから、私は開隆堂を推したいと思えます。

委員長 小池委員、お願いいたします。

小池委員 荒川区はモノづくりの街及び伝統技術を保存、継承することに力を入れてきております。この3つの出版社の中で私は開隆堂の教科書を推薦したいと思います。

第1の理由は、イラストと写真を用いてわかりやすく説明して、理論的なバックグラウンドと実際例を提示している点。

第2に、情報に関する技術については、情報セキュリティーや情報モラルと知的財産の保護についてきちっと述べております。情報技術の評価については、社会、環境、経済的側面から総合的、多角的に行う必要があるということ。持続可能な社会へリードする必要性を述べていると思います。昨今の技術の進歩を見ていると、タッチパネルやウェアラブル端末の将来というのが発達していくものと思われる。そういうことを考えると、果たして、私がこの技術の進歩についていけるかが心配でございます。

委員長 高野委員、お願いいたします。

高野委員 私も開隆堂を推薦します。非常にわかりやすく、きれいな絵がたくさん載っています。そして、見るとこういうことなのだという、のこぎりの使い方から、ましてや、情報モラル、これが、今後の社会に、荒川区タブレット使っているものですから、そういうものを含めて、この辺、モラルが一番重視して書かれておりましたので、開隆堂を推薦したいと思います。

以上です。

委員長 教育長、お願いいたします。

教育長 委員の皆さんとダブってしまうのですが、木工製作と情報技術とあって、情報ネットワークの両項目について比較してみました。結論で申し上げますと、開隆堂が一番いいと思います。理由としては、木工製作等について実習例だとか図がわかりやすく段階的に掲載されておりまして、生徒が理解しやすく教員のほうも教えやすいのかなと思います。

また、情報技術に関しては、情報モラルについてきちんと、どの教科書も取り上げているのですが、最も明確に記載されておりまして、生徒が学習しやすい掲載の仕方になっておりますし、また、ネット依存についても問題提起されておりまして、中学校の教育現場において、きちんと教える上で最も適切な教科書であると判断した次第でございます。

委員長 私も、やはり開隆堂を推薦させていただきたいと思います。開隆堂ですが、全体的にシンプルでコンパクトにまとまっているという点が非常にいいかと思います。荒川区の調査研究報告におきましても、全体的にシンプルで指導が生きる内容となっているという指摘がされております。以上から、開隆堂を推薦させていただきます。

では、ほかに御発言ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ほかに意見がないようであれば、採決に移ります。

御審議を伺っておりまして、5名の委員の全員が開隆堂がよいという御意見です。そのため、開隆堂を採択することにしたいと思いますが、異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議なしということですので、教科「技術家庭」、種目「技術家庭（技術分野）」は、開隆堂を採択することといたします。

続きまして、教科「技術家庭」、種目「技術家庭（家庭分野）」の審議・採決をいたします。

指導室長より、「技術家庭（家庭分野）」について説明をお願いいたします。

指導室長 教科「技術家庭」、種目「家庭分野」の調査研究のまとめの主なものを御報告申し上げます。

東京書籍でございます。表現でございます。挿絵、図、グラフ、写真などの内容に則し、量も豊富で、実物大のものも多く、また、教科書自体も大きく鮮明で、イメージも湧き、大変わかりやすい。単元構成でございます。習得・活用のバランスがよく、安全配慮や関連へのリンク、問題提起、発展学習、職業観の育成も考えられている。

教育図書でございます。内容でございます。イラストやマンガを多く取り入れ、親しみやすい構成となっている。表現でございます。挿絵、図、グラフ、写真などの資料が工夫されている。

開隆堂でございます。内容でございます。「自立と共生」、「持続可能な社会」の育成を目指した内容が明確で、生徒の発達段階に応じた適切な量である。表現でございます。食事摂取基準は2015年版を使用している。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

委員長 教科「技術家庭」、種目「技術家庭（家庭分野）」について説明がありました。御審議をお願いいたします。小池委員、お願いいたします。

小池委員 私は、開隆堂を推薦したいと思います。その理由は、写真、図、グラフをたくさん用いて、興味とイメージを持たせていると思います。また、説明が、親切でわかりやすいという長所を持っていると思います。

各分野についてですけれども、Aの家族・家庭と子供の成長については、子どもの成長にとって家庭生活が大切なことは十分強調されていると思います。私の懸念はちょっと別にあります。第1は、核家族のみならず、独身ないしひとり暮らしの世帯が増えているということ。第2は、特に育児に関して、男女共同参画の社会というのをきちっと実現する必要があると考えます。

それから、Bの食生活と自立については、調理の基本、それから、実習例が写真入りで懇切に説明されております。特に、食材については、75ページ、77ページ、実物大の大きな写真が入っております。和食は、世界遺産に登録されていることに見られるように、日本人の食生活は

世界に誇れると私は自負しております。また、特に、季節により食材がバラエティに富んで、クール宅急便もある、それから、郷土料理も極めて豊富な内容を持っております。

Cの衣生活・住生活と自立ですけれども、住生活となると、日本は極めて貧しい、先進国ではなく発展途上国よりも劣っていると思います。特に戦後、人口が都市に集中したので、居住面積が狭くならざるを得なくなった。したがって、限られた狭い空間をいかに効率的にうまく使うかということに我々は知恵を絞らざるを得なかったという不幸な歴史を持っております。衣のほうについては、国際的には極めていい高い水準を保っていると思います。

Dの身近な消費生活と環境について、消費者を保護する制度が徐々に整ってきているということとは極めて喜ばしいことだと思っております。

以上です。

委員長 では、坂田委員、お願いいたします。

坂田委員 実は、この3つの教科書を比べますと構成が違ってまして、東京書籍だけが、最初に私たちの食生活から入ります。残り2社は、私たちの家庭から入るという構成になっております。非常に重要ではあるのですが、私としては、やはりこの家庭から入ったほうがよいのではないかなと考えました。

そういう面で見ますと、開隆堂につきましては、最初の家庭に関する記述がかなり充実をしております、よい内容ではないかと思えます。

学校図書は、きめ細かい印象があって、また、実習の割いているページも多く、資料が充実しているかと思えます。

東京書籍は、私たちの食生活から入っているのですが、大き目の判であって、親しみやすいところはあろうかと思えます。

評価としましては、先ほど申し上げたように、私自身は家庭から入ったほうが良いと考えております、家庭に関するところから入って、内容的にもバランスよく充実をしている開隆堂を推したいと思えます。

委員長 高野委員、お願いいたします。

高野委員 高野です。前の委員2人がお話したとおり、私は、社会の基本は家庭であると考えから勘案して家庭から入ったほうが良いと思えます。そして、家庭以外のことにつきまして見ますと、私は、東京書籍は食生活から入っていますけれども、ほかの教育図書と比べますと、やはり、開隆堂は見やすく、使いやすいということが大きな点で、バランスがよく構成されているということと、地域の防災のほうに関しても述べられているという点で、開隆堂を推薦いたします。

委員長 教育長、お願いいたします。

教育長 高梨です。学習指導要領では、技術家庭の家庭分野の目標として、生活の自立に必要な

基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てるとなっております。

そういった観点から、やはり、家族といえますか、家庭の大切さと防災について、各社がどのように記述しているかということについて分析を行いました。

委員の皆様から御指摘がありましたように、開隆堂については、家庭や家族、地域とのかかわりをまず冒頭に置いて、丁寧に記載してございますし、また、防災面でも、中学生も防災の担い手であるということで、釜石東中学校の例、先ほど来申し上げていますが、防災訓練の様子、あるいはまた地域での中学生の役割ということで、269ページでも記述しておりまして、以上の観点から、開隆堂が一番ふさわしいのではないかと、一番よいのではないかとさせていただきます。

委員長 私からの意見を述べさせていただきたいと思っております。

開隆堂と東京書籍がいいのではないかなと思っておりました。東京書籍に関していいますと、例えば、弁当づくりに挑戦しようということで、お弁当コンクールといった記載がございまして、荒川区は、お弁当レシピコンテストをやっているということから、こういった内容が含まれているといいのではないかなと思っておりました。

そして、開隆堂のほうなのですが、269ページ、安全と防災ということで、中学生の地域防災の担い手という項目がございまして、荒川区の場合には、中学校で防災を重視しておりまして、今年度から全中学校に防災部を設置しており、中学生が防災の担い手として活躍しております。そういったことから、総合的に判断させていただきまして、開隆堂を推薦させていただきたいと思っております。

ほかに御発言ありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ほかに意見がないようであれば、採決に移ります。

御審議を伺っておりまして、5名の委員全員が開隆堂がよいとの意見かと思っておりました。そのため、開隆堂を採択することにしたいと思っておりますが、異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議なしとのことですので、教科「技術家庭」、種目「技術家庭（家庭分野）」は、開隆堂を採択することといたします。

それでは、続きまして、教科「外国語」、種目「英語」の審議・採決をいたします。

指導室長より、「英語」について説明をお願いいたします。

指導室長 教科「外国語」、種目「英語」につきまして、調査研究のまとめの主なものを御報告

申し上げます。

東京書籍でございます。内容でございます。生徒の発達段階に応じた学習内容であり、量的に適切で、単語の数を示してある。地域性でございます。防災教育に関する題材も扱われている。

開隆堂でございます。表現でございます。全般にわたって、写真やイラストが発音の強弱など効果的に使用されていて見やすい。単元構成でございます。配列は、易しい内容から難しい内容へ系統的に構成され、英文が作りやすい。

学校図書でございます。内容でございます。復習のページが充実しており、書き込み式になっている。表現でございます。実際の点字に触れることができ、生徒の関心を引く工夫がある。

三省堂でございます。内容でございます。生徒の知的好奇心を刺激するような題材が多い。表現でございます。語彙が豊富に表示され、自主的に活動しやすい。

教育出版でございます。内容でございます。4技能がわかりやすく示されている。使用上の便宜でございます。教科書に別冊が付いており、自学、自習ができる2冊構成になっている。

光村図書出版でございます。内容でございます。言語の使用場面が明確であり、題材も身近で興味深い。単元構成でございます。音読練習のチェック欄があるなど、自主的な学習を支援する工夫がある。

以上でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

委員長 教科「外国語」、種目「英語」について説明がありました。御審議をお願いいたします。

小池委員、お願いいたします。

小池委員 まずは、一般論ですけれども、第1に、外国語の中で、英語は幸か不幸か国際公用語となりました。ラテン系の言葉のフランス語、スペイン語と比べても、スペルや発音や現在、過去、未来の動詞変化が不規則と例外に満ち満ちております。いわゆる受検英語というのは、この弱点をねらってきております。しかし、残念ながら、国際公用語になりましたから、日本人を含め、世界の人々は英語を学ばざるを得ない宿命を背負っております。

第2。しかし、聞く、話す、読む、書くという4つの能力を磨いていく必要があります、コミュニケーションの道具として。荒川区の小学校の英語のレベルは高いと承知しております。しかし、小学1年生88%の子は英語が好きと言っているのに比べて、中学になると60%台に落ちる。これは、テストの影響も大きいのかと思います。コミュニケーション能力と文法のバランスをどうとるか、それから、単語と簡単なフレーズを比較すると、簡単なフレーズは単語としてよりも、むしろフレーズとしてまとめて覚えるのが有効かと思います。

6つの出版社全てに私は目を通しましたが、いずれも工夫を凝らして、小学校で習ったこととの橋渡しをして、スムーズに中学のレベルに導こうと、まじめに努力した跡が伺われます。その中で私は、開隆堂、東京書籍及び三省堂を取り上げたいと思います。

まず、開隆堂。小学校で習ったことを活用、発展させることに意を配っています。例えば、アルファベットの教え方は極めて丁寧である。英語の仕組みを要所要所に設け、習った文法をまとめて把握できるように工夫されております。教科書選定調査会の調査研究報告でも、「生徒の発達段階に応じ、量的に適切で学習指導要領内容がバランスよく配列されている」旨記載されております。

次に、東京書籍。コミュニケーションを重視していて、学校や学校行事など、身近な材料を取り上げ、親しみの持てる内容になるように工夫しております。また、まとめと練習は、個人的にも、自分の習熟度を自宅でもチェックできると思います。

それから、三省堂。第1に、それぞれの章のレッスンの目的、例えば、関連する単語や個別の文法が極めて明確に示されております。第2に各章ごとにワードバンクを設けて、関連したジャンルの単語やフレーズを覚える仕組みをつくっております。特に、フレーズごと覚えるというのはよい教え方だと思います。第3として、各学年末の付録がとてもよく充実している。復習や暗唱するのに有益であります。第4に、3年の後半になるとかなり長文で、社会性のある文を収録しております。第5に、調査研究報告では、学習内容は量的に適切としておりますが、かなりのボリュームであり、教えるほうも教えられるほうも大変だと思いますが、荒川区の小学校の英語レベルが高いということであれば、荒川区に最もふさわしいのは、三省堂かと思います。

以上です。

委員長 では、坂田委員、お願いいたします。

坂田委員 英語は、やはり、日本の学校教育においては最も課題の大きな科目であろうかと思えます。よく、TOEFLでもグラマーはそこそこだという意見もありますが、私は、客観的に見てそういうことは全くなくて、日本でよく教えられていると思われるグラマーに関しても、TOEFLの水準は非常に低いと言わざるを得ないと思います。

また、ただ、世界的に見て、TOEFLも改編をされていて、読み書きだけではなく、話すということも非常に重要視をされていると思います。

それから、英語は言葉ですので、言葉として使われるものに変化があると。そういった変化に対応できていないと、国語を学んでいるのか、古典を学んでいるのかよくわからないということになってしまいます。

そういう面で見ますと、各社とも、小池先生おっしゃったように、非常によく対応してきていると評価できるかと思えます。

私は、東京書籍、三省堂、それから、光村図書出版と3社について詳細に検討してみたのですが、東京書籍、NEW HORIZONは、最初に話すことを重視して、かなりの紙面を導入に割いています。各ページに、語句やツールボックスがあって、こういったのを理解をさせている

と思います。それから「デイリーシーン」というコラムがあって、これは、現代的に使われている、かつ生活面において、特に導入部によく使われるような、そういったものについても対応しているなと思います。

NEW CROWN 三省堂は、ワードが右端にあって読みやすい、見やすいと思います。内容的に見ても、興味、関心を高めやすい内容になっています。巻末の付録資料が非常に充実をしまして、現場の教育で実際に使うというようなことであれば有益ではないかなと思います。

光村図書出版のCOLUMBUSが、絵が多くて1年生にはとてもなじみやすいという感じがいたしますけれども、やや教科書としてはちょっと多過ぎるかなというのが率直なところです。

以上から私としましては、第1位が、東京書籍のNEW HORIZON、続いて、第2位が、三省堂のNEW CROWNと考えました。

委員長 高野委員、お願いいたします。

高野委員 英語は、大変それぞれ特徴があって、いいものがたくさん出ておりました。しかし、一番重要なのは、今後、コミュニケーションをいかに図るか、話すということを聞く、ここがかなり重点を占めている部分です。といいますのは、聞こえないと、話せないとなじみができない。日常生活ですけど、実際に僕の経験からもそのように考えます。それを十分にするのは、基礎がしっかりしてなきゃいけない。特に、中学生1年のときは、中学生ギャップとして、英語に非常に力を入れなきゃいけないという、今社会問題としてありますけれども、そのところをいかに埋めるか、小学校から中学校までいかにスムーズに進めるか、生かせるか、英語になじむようにさせるかということが強調点だと思います。そういう意味で、三省堂が、1年生と小学生で使った単語が入っておりまして、英語になじむようにつくられていると思います。日常生活で使われている単語は文章に全面的に出して、段階的になっている。2年生では、文章の読み方の読解力をつけさせるようにしている。また、3年生は、興味を世界に向けるようになっていく。世界の自然や各国の文化、伝統、例えば、日本文化を知ろうということが。それから、キング牧師が出てきて、「I Hava a Dream」とか、錦織圭が出てきたり、たくさん興味をそそるように工夫がされている。さらに、文法にも重点が置かれているということが見逃せないようになっています。ノートチェック、thinkがあって、単語が豊富で、巻末の文法がまた非常に充実しているので、そのほかの本も極めてよくできておりますが、三省堂を私は英語では推薦したいと思います。

委員長 教育長、お願いいたします。

教育長 高梨です。私も、結論として三省堂を推したいと思います。中学校において、英語の初歩といいますか、基本的事項をしっかり身につけることが何より重要だと考えております。その意味において、三省堂の教科書はイラストや図を使ってわかりやすい構成になっておりまして、

教科書全体が見やすいつくりになっております。

また、先ほど来、委員の方々から御指摘になりましたけれども、進むごとに文法のまとめが掲載されているほか、巻末の資料が充実しておりまして、年間を通した学習の取まとめ、という意味でも活用がしやすいと思います。

加えて、先ほど小池委員や、今、高野委員からも御指摘がありましたように、とりわけ3年生の教材では、豊富な話題が取り上げられておりまして、読み物としても手応えがあるものと受けとめさせていただきました。よって、三省堂を推したいと思います。

委員長 では、私からの意見を述べさせていただきたいと思います。

それぞれに各社工夫されておりますが、荒川区の実態に合っているものとして三省堂を推薦したいと思います。なるべく重複しないように、メリットを述べさせていただきたいと思います。

三省堂のメリット1点目として、生徒の知的好奇心を刺激するような題材が盛り込まれているということで、例えば、1年生でアメリカの学校生活、スクールバスなどの紹介がある点を指摘したいと思います。

2点目なのですが、伝統文化の発信ということで、3年では落語があるのですが、英語で有名な時そばを聞いてみようといった、そういったこともありまして、非常に興味深い内容になっていると思います。

3点目として、英語を学ぶのであれば読んでおきたい英語の文章が盛り込まれているということで、先ほど高野委員からも御指摘があったのですが、マーティン・ルーサー・キング牧師の有名なスピーチであります「I Hava a Dream」、これを収録しているというのは非常に重要かと思っております。

それと、4点目としてオーラルも重視しているのですが、三省堂の場合、文法に関しても充実していると。やはり、高校入試がありますので、文法は非常に重要かと思えます。

以上から、三省堂を推薦したいと思います。

ほかに御発言ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ほかに意見がないようであれば、採決に移りたいと思います。

御審議を伺っておりまして、4名の方から三省堂がよいという御意見かと思いましたが。そのため、三省堂を採択することにしたいと思いますが、異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議なしとのことですので、教科「外国語」、種目「英語」は、三省堂を採択することといたします。

それでは、先ほど採決のときに3名以上となる発行者が出なかった教科、種目につきまして改

めて審議をお願いしたいと思います。

では、国語、種目「書写」について、よろしく願いをします。教育長、お願いいたします。
教育長 私が推した教育出版は少数ということで、三省堂か光村かという形になるかと思えます。両社を比較してみますと、やはり、三省堂について国語の教科書と同一であるほうが、より書写に親しみがあるのかなというのと、先ほど来指摘されております、筆性がはっきりして、生徒たちが毛筆を学習するのにより効果的ではないかという御指摘等があり、両社を比較するならば、三省堂を推したいと思います。

委員長 ほかに御発言ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 では、ほかに意見がないようであれば、採決に進みたいと思います。

では、国語、書写につきまして、三省堂を推薦される方は挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

委員長 3名。光村図書出版を推薦される方は。

〔賛成者挙手〕

委員長 2名ということですので、そのため、教科「国語」、種目「書写」につきましては、三省堂を採択することにしたいと思いますが、異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議なしということですので、教科「国語」、種目「書写」は、三省堂を採択することといたします。

それでは、続きまして、教科「理科」、種目「理科」について、改めて御審議お願いいたします。それでは、教科「理科」、種目「理科」についてでございますが、改めて御審議をお願いしたいのですが、高野委員、お願いいたします。

高野委員 先ほど高野は、学校図書を推薦いたしました。それには、生命維持というか、その生物のことについて十分である。それと、実験がよく書かれているということで推薦しましたけれども、東京書籍の場合、フロームジャパンとか、やはり、非常に魅力的なところがたくさんあります。絵や写真も非常にきれいで取り組みやすく、基礎から大きく、秩序立ててきちっときちっと取り組みやすく、調べを推測しようと、そういうことを醸成するような構成になっております。そういうことから見ますと、皆さんの御意見が多い東京書籍ということで、そういうことにさせていただきます。

委員長 小池委員、お願いいたします。

小池委員 私は、先ほどは大日本図書を推薦したのですが、ここで趣旨がえをいたしまして、東京書籍にしたいと思えます。というのは、先ほど説明したように、東京書籍、大日本図書

いずれも極めて立派な教科書だと思って、その差は極めて小さいというか、私も迷ったところだったので、東京書籍のほうに切りかえたいと思います。

委員長 ほかに御発言ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ほかに意見が出ないようであれば、採決に移ります。

御審議を伺っておりまして、4名の方が東京書籍がよいとの意見かと思いましたが、そのため、東京書籍を採択することにしたいと思いますが、異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議なしとのことですので、教科「理科」、種目「理科」は、東京書籍を採択することといたします。

予定しておりました9教科15種目の採択が終了しましたので、改めて確認をいたしたいと思います。お願いいたします。

指導室長 それでは、採択の結果について読み上げさせていただきます。

教科「国語」、種目「国語」、三省堂でございます。

教科「国語」、種目「書写」でございますが、三省堂でございます。

教科「社会」、「地理的分野」でございますが、帝国書院でございます。

教科「社会」、「歴史的分野」でございますが、東京書籍でございます。

教科「社会」、「公民的分野」でございますが、東京書籍でございます。

教科「社会」、「地図」でございますが、帝国書院でございます。

教科「数学」、種目「数学」でございますが、東京書籍でございます。

教科「理科」、種目「理科」でございますが、東京書籍でございます。

教科「音楽」、「一般」でございますが、教育芸術社でございます。

教科「音楽」、「器楽合奏」でございますが、教育芸術社でございます。

教科「美術」、種目「美術」でございますが、日本文教出版でございます。

教科「保健体育」、種目「保健体育」でございますが、大日本図書でございます。

教科「技術家庭」、「技術分野」でございますが、開隆堂出版でございます。

教科「技術家庭」、「家庭分野」でございますが、開隆堂出版でございます。

教科「外国語」、種目「英語」でございますが、三省堂でございます。

以上でございます。

委員長 採択結果は以上のとおりとなりました。なお、採択結果につきましては、本委員会の終了後に公開いたしますので、よろしくをお願いいたします。

以上で、議案第21号「平成28年から使用する中学校教科用図書の採択について」の審議は

終了しました。ありがとうございました。

続きまして、議案第22号「平成28年度に特別支援学級で使用する一般図書の採択について」議題といたします。

事務局より議案の説明をお願いいたします。

指導室長 「平成28年度に特別支援学級で使用する一般図書の採択について」御説明いたします。

小中学校の特別支援学級で特別な教育課程を編成する場合は、学校教育法附則第9条、同法施行規則第139条の規定により、教科により当該学年用の文部科学省検定済み教科用図書を使用することが適当でないときには、当該学校の設置者の定めるところに他の適切な教科用図書を使用することができることとなっております。

特別支援学級で使用する教科用図書は、いわゆる一般図書と呼ばれております。本区においては、東京都教育委員会が十分な調査研究を行い作成した平成26年から28年度使用特別支援教育教科用調査研究資料及び平成28年用一般図書一覧から、各学校が使用する一般図書を選択することとなります。

本区においても、この調査研究資料などを参考資料として、各学級の児童生徒の状況に応じた適切な図書を選択することになります。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

委員長 ただいまの説明につきまして、御質問、御意見などございますでしょうか。

教育長 高梨です。事務局に質問です。かなり多くの書籍が推薦されておりますけど、これらについては、現場の先生方がさまざまな本を比較検討した上で適切であるということで御推薦をいただいたものであるということだけ確認させていただきます。

指導室長 書物がたくさん載ってございますが、1人1人の子どもに適した教科用図書または一般図書を各学校で適切に選んでいただいていると考えてございます。

坂田委員 この図書につきましては、子どもたちの個人差を適切に反映することが重要だと思いますので、私としては現場の御意見を重視したいと思います。

委員長 ほかにございますでしょうか。

高野委員 やはり現場の先生方の御意見が非常に重要だと思います。特別支援学級の卒業式に出ましたが、それぞれの子どもたち見ていると、様々なお子さんがいますから、やはり、現場の先生の意見を反映させたほうがいいと思います。よろしく申し上げます。

委員長 小池委員、お願いいたします。

小池委員 私も全く同意見です。現場の先生の判断を尊重したいと思います。

委員長 ほかに御意見等ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、原案どおり採択することに異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議ないものと認めます。議案第22号「平成28年度に特別支援学級で使用する一般図書の採択について」は、原案のとおり採択することに決定いたしました。

本日予定しておりました案件は以上でございますが、その他の事項として事務局より何かございますか。

教育総務課長 特にございません。

委員長 では、ないようですので、以上をもちまして、教育委員会第1回臨時会を閉会いたします。本日は長時間にわたりありがとうございました。なお、7月24日の定例会で決定しましたように、次回8月14日の定例会は、特段の案件がない限り休会となりますので、よろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

了